

# SPIRAL REPORT 2011

スパイラルレポート

みんなで考え、協力しあって創る、  
協同のある暮らし

# トップメッセージ

スパイラルレポートの発行にあたって

## 滋賀県民の暮らしを支える続けられる確かな存在へ

2011年は、未曾有の大震災と、福島原子力発電所の事故による放射能汚染により、暮らし、食の安全が問われた年でした。

その中でも、多くの組合員を迎え入れ、組合員の利用と活動に支えられて、着実に事業を前進させることが出来ました。多くの組合員がコープしがに期待を寄せ、支持していただいている結果と感謝しています。東日本大震災において生活協同組合が暮らしを支える糧となり、「一人は万人のために 万人は一人のために」が被災地で、また、被災地を応援する気持ちが、結集していただいたものと思っています。

昨年6月の日生協総会において、「日本の生協の2020年ビジョン」が多くの生協の協議プロセスを経て確認されました。2020年のありたい姿は、『私たちは、人と人とがつながり、笑顔があふれ、信頼が広がる新しい社会の実現をめざします。』です。

組合員の暮らしが、かつてなく厳しさを増す時代において、新たな時代の要請に応え、協同組合の役割を発揮すべきときであり、とりわけ生協の事業において、暮らしへの役立ちをより一層高めていくことが求められています。

合わせて、国連は、2012年を「国際協同組合年」と定める決議をしました。スローガンは、「協同組合がよりよい社会を築きます」。

世界が抱える貧困、金融・経済危機、食糧危機、気候変動などをはじめとする現代社会の重要課題の解決に向けて、協同組合が大きな役割を果たすことを期待したものです。滋賀県でも協同組合間提携を進め、今後数十年の協同組合の発展につなげていきます。

振り返れば、コープしがが県内4つの生協が合併し誕生する際の、合併趣意書には「より多くの県民の参加による協同の力で、組合員の暮らしと県民の暮らしの総合的な向上をめざします」とし、事業面では「組織の状況を踏まえ、組合員の暮らしの変化に対応するため事業を拡大、発展させ、経営の安定をはかります」としました。その他、地域貢献の推進など、「日本の生協の2020年ビジョン」と多くが重なり合います。

これまで無店舗事業を中心に組合員の利用に支えられ、安定して健全な事業経営がすすめることができました。無店舗事業のインフラを活用し、共済事業、ささえあいサポートの取り組みを深耕してきました。そして15万人を見通せる組織にまで成長してきました。それでも組織率は27%の到達です。

これまでの基盤を大切にしながら、10年後のありたい姿（2020年のビジョン）をめざし、滋賀県民の誰もが参加できる生活協同組合として、事業を進化発展させ、県民の過半数の利用を見通せる組織に成長することをめざしていきます。



2012年6月  
生活協同組合コープしが 理事長 **西山 実**

# コープしがの組織概要と経営状況

コープしがは、1993年発足時組合員数75,015人でしたが、2011年度には146,674人、組織率27%となり、県内全域に広がる組織へと発展しました。

今後さらに、コープしがは滋賀の生協として、事業を通じて組合員だけでなく県民の暮らしに貢献し、消費者の生活の向上をめざし活動をすすめていきます。

## コープしがの概要

■名称 生活協同組合コープしが

■理事長 西山 実

■本部 滋賀県野洲市富波甲972番地

### 2011年度概況

- ・組合員数 146,674人 ・組織率 27%
- ・出資金 9,243,592千円
- ・供給高 26,160,459千円
  - ・共同購入 24,573,160千円
  - ・店舗 1,539,681千円
- ・職員数 正規職員288人 準職員9人  
嘱託13人、定時330人、アルバイト150人  
(2012年3月20日現在)

<http://www.pak2.com/about/index.html>

※コープしがの事業所と子会社は P.30 をご覧ください。

## 行政区組織率 (2012年3月現在)

市町村名	組合員数	世帯数	組織率 (%)
大津市	44,710	137,574	32.5
彦根市	11,639	46,208	25.2
長浜市	12,093	44,742	27.0
近江八幡市	6,952	29,964	23.2
草津市	10,721	60,294	17.8
守山市	7,326	27,978	26.2
栗東市	5,567	23,492	23.7
甲賀市	8,301	32,778	25.3
野洲市	5,491	18,207	30.2
湖南市	4,573	21,335	21.4
高島市	6,610	19,562	33.8
東近江市	10,683	40,880	26.1
米原市	4,129	13,361	30.9
日野町	2,128	8,055	26.4
竜王町	1,162	4,403	26.4
愛荘町	2,071	7,013	29.5
豊郷町	625	3,033	20.6
甲良町	585	2,336	25.0
多賀町	923	2,517	36.7
合計	146,271	543,732	26.9



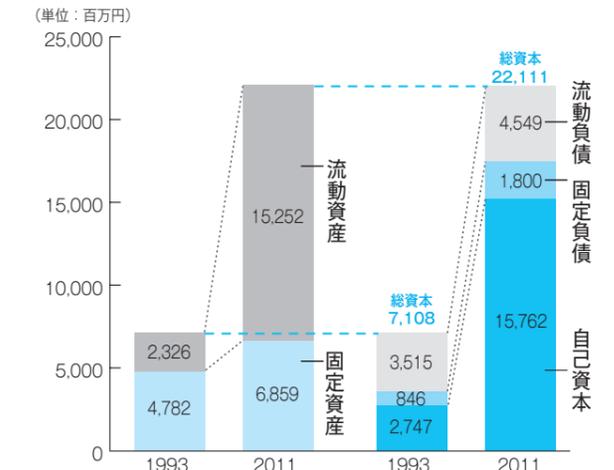
第1回通常総代会 (1993年5月)

## 主な取扱事業種目等

事業種目	主な事業品目等
供給事業	食料品、米穀、酒、衣料品、日用雑貨、家庭用品、文房具、書籍、化粧品、各種チケット等
利用事業	ささえあいサポート利用 福祉ネットワークセンター施設利用
共済事業	たすけあい共済 (受託)、火災共済 (受託)、生命共済 (受託)

## 経営状況

### 1993年度 (コープしが発足時) と 2011年度の比較

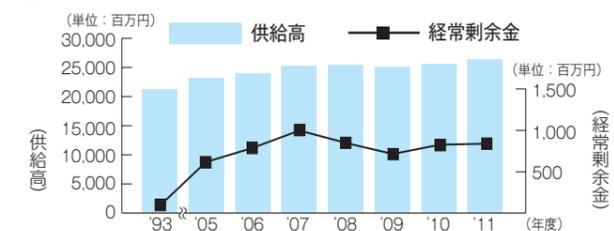


年度	経常剰余率 (%)	総資本回転率 (回/年)	流動比率 (%)	固定比率 (%)	自己資本比率 (%)
1993	0.7	3.0	66.2	174.1	38.6
2011	3.2	1.1	335.2	43.5	71.2

## 組合員数と出資金



## 供給高と経常剰余金



※供給高及び経常剰余金は最終確定前の決算数値です。

～想いや願いを寄せ合う～

# みんなの声でつくるコープしが ～わたしたちコープしがめざすもの～

「聴く、話し合う、そしてつなぐことを大切に」をさらに進め

# 「みんなで考え、協力しあって創る、協同のあるくらし」 ～私たちは、人と人がつながり、笑顔があふれ、 信頼が広がる新しい社会の実現をめざします～

生協に寄せられる組合員の声は、組合員コールセンターやばくばくパーティメモなど活動の場の声、ホームページの声、学習会のアンケートなどたくさん頂きます。一つひとつの声を聴き、話し合い、つないでいます。そしてその想いや願いをみんなで考え協力しあって解決していく協同の輪を広げ、みんなで支え合うコープしが目指しています。



産直野菜学習会



## コープしがでは、 組合員の声を聴き、話し合い、 つなぎ、事業や活動に活かしています

### 【理念と運営体制】 P 6～ P 9

1. 協同組合原則とコンプライアンスを遵守した運営に取り組んでいます

### 【食の安全】 P 10～ P 13

2. 安全・安心な商品づくりや、安全確保のための運動に取り組んでいます

### 【地域貢献】 P 14～ P 15

3. 人と人とのつながりを大切に、みんなで支え合う街づくりと平和な社会をめざしています

### 【組合員の活動】 P 16～ P 17

4. 組合員一人ひとりの願いを実現するため、自発的活動や学習会を行っています

### 【環境保全】 P 18～ P 25

5. 滋賀の環境を守るため、そして地球温暖化防止のため行動しています

### 【事業内容】 P 26～ P 31

6. 家族みんなが安心して暮らす商品・保障サービスを提供しています

コープさんは他のお店で買えない安全・安心の商品がたくさんあり、また計画的に購入できますので無駄遣いがなくなりエコな気分があじわえて幸せです。

子どもが通う小学校から毎日のように不審者情報メールが届きます。生協の子ども110番の取り組みはいいですね。これからも地域の安全・安心のために頑張ってください。



県内商品開発委員会

ばくばくエコは滋賀県産の商品が充実していますね。地産地消で最近よく聞きますが、環境のためにもできるだけ滋賀県産の商品を利用していきたいと思えます。

これからも安心・安全な商品を期待します。産地の情報もできるだけ詳しく知らせてほしいです。



生産者との交流会

引っ越してきて知り合いがいない中、パクパクコミュニティの子育てひろばに申込み友だちができました。感謝、感謝です。



パンの学習会

放射能のことがとても心配です。安心して暮らせるよう情報なども詳しく教えてください。



子育て広場

コープしがも京都生協のように店舗を増やして頂ければ組合員も増えるでしょうし、滋賀県の人に生協を知ってもらうことができるのではないのでしょうか。



近江米の学習会

お守りとして共済に家族全員が加入しました。今回、子どもがけがでお世話になり大変助かりました。給付が早くてびっくりでした。



店舗共済カウンター



ミニコープ野洲店

共同購入だけでは不便なので、小さなお店でもいいので地域に作ってほしいです。コープのお店が近くにあるといいのになぁ！



ミニコープローズタウン店

スーパーなどに売っていない商品も扱っているのが魅力です。もっと試食商品を配るとか試食する機会を増やすと売上が伸びると思いますよ。

家族が減り老後のことを考えると、とても心配です。介護のことや年金など将来に向けて不安でいっぱいです。



福祉フォーラム

東北の大震災は本当に心を痛めました。何かできることはないかと思いき生協さんの募金活動に協力しました。



震災ボランティア 南三陸

個配へ変更する友達が増えて、今は共同購入をご近所仲間の3名でしています。最近みんなも働きに出るようになり、なかなか会えなくなってきました。



コープきんき商品検査センター

近くにステーションが無いので個配を利用しています。でも手数料が必要なので、もっとステーションを作ってほしいです。田舎の地域ではステーションは便利です。加入も増えると思いますよ。



放射性物質と食の安全・安心学習会

生協の個配には本当に助かっています。他の宅配はカタログの商品数も少なく、注文から配達まで結構面倒ですが、コープの個配は留守でも安心です。配達の方も、宅配だったら渡したら終わりですが、生協さんのような気軽にお話しできる感覚と毎週顔を合わせている安心感があります。最近では物騒な事件も多いですから。



手作りウィンナー教室

実家の母が高齢で膝が痛く買い物に行けない状態になりました。生協の個配を始めたが、大変喜んでいました。水やお茶など重いものを座敷まで運んでくれると言ってました。本当に助かりました、感謝しています。今まで生協以外でこんなことをしてくれるところはありませんでした。

組合員とともに歩むコープしが

コープしがは、  
人と人との自発的な結びつきによる、  
組合員の生活向上をめざしています。

1. 滋賀の生協運動とコープしがの果たす役割

■ 滋賀の生協

1970年代滋賀県では、びわ湖の環境汚染問題や食品添加物の安全性の問題などから消費者運動が生まれ、そして地域の婦人グループや学生、労働組合などの活動により、1972年に滋賀の生協運動が始まりました。

当時の地域生協は、組合員と専従職員で共同購入を始め、商品では有害添加物や農薬を排除したコープ商品や産直商品の開発、環境では家庭の廃食油回収運動と石けん利用、合成洗剤追放運動を行い、その運動から環境生協（現NPO法人「碧いびわ湖」）が設立されました。福祉では生協の「くらしすけあいの会」の活動やNPO法人「しみんふくし滋賀」が設立されました。また戦争のない平和を願う運動など、多くの組合員や役員により、約40年にわたり消費者運動と生協運動が支えられてきました。

■ コープしがの果たす役割（合併趣意書）

21世紀に向けてさらに滋賀の生協運動の役割を果たすため、1993年3月21日、県内4地域生協が合併し、「それぞれが培ってきた活動や経験を発展的に継承し、滋賀県民の豊かなくらしと人間尊重の平和な街づくりをすすめる」ことを目指し、「生活協同組合コープしが」が誕生しました。

2. コープしがのめざすもの

■ 使命（ミッション）

2003年第3次中期計画で、新たな10年間を展望して「コープしがのめざすもの（使命）」を策定しました。この使命は、事業体を通じて「安心とぬくもり」を提供し、「人」「社会」「自然」を大切に社会的責任（CSR）の姿勢を明確にしました。

■ 「聴く、話し合う、そしてつなぐことを大切に」

コープしがでは、2009年第5次中計で「基本姿勢」を策定し、より組合員の声やくらしにもとづき、事業の展開や組織運営の見直しをすすめました。

■ 「みんなで考え、協力しあって創る、協同のあるくらし」

2012年度は、2020年ビジョン「私たちは人と人がつながり、笑顔があふれ、信頼が広がる新しい社会の実現を目指します」の実現に向けて、事業活動の協同や運営参加の協同など4つの協同に取り組んでいきます。

3. 生協の基本的価値（生協法第1条）

生活協同組合（生協）は、組合員がつくり、組合員が経営し、組合員が利用する三位一体の組織です。生協法では、「国民の自発的な生活協同組合の発展を図り、もって国民生活の安全と生活文化の向上を期することを目的」（第1条）としています。

4. 国連では、2012年を「国際協同組合年」とすることを宣言しました。

2009年国連総会で、2012年を「国際協同組合年」とし、国際連合とその全加盟国、関係者に対して、協同組合が社会経済的発展に果たしている役割に関して、持続可能な開発や貧困の根絶、都市と農村の様々な経済主体に貢献する協同組合を整備し、推進することを求める宣言を採択しました。



5. 協同組合の原則

定義	
協同組合は、協同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である。	
価値	
協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。それぞれ創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という論理的価値を信条とする。	
原則	
1. 自発的で開かれた組合員制	5. 教育、訓練及び広報
2. 組合員による民主的管理	6. 協同組合間協同
3. 組合員の経済的参加	7. コミュニティへの関与
4. 自治と自立	

1995年 ICA（世界協同組合同盟）世界大会での声明

コープしがのガバナンスと運営

コープしがは、  
「内部統制基本方針」にもとづき、  
「法令の遵守と情報の公開」を運営原則としています。

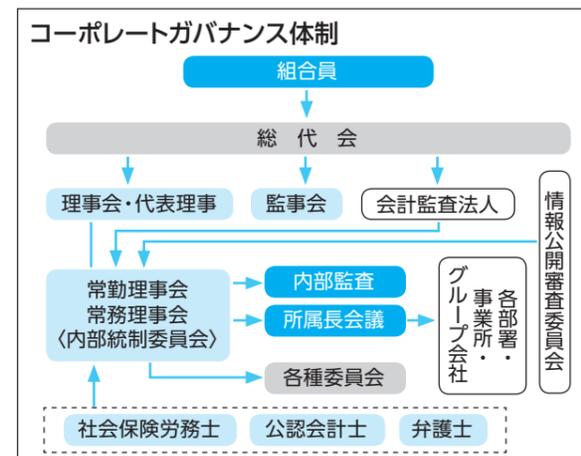


1. コープしがのガバナンス体制

- 1) 生協法にもとづき最高議決機関である総代会で承認された方針と予算を、理事会・代表理事が業務執行し、理事会から独立した監事会が理事の執行を監査するガバナンス体制としています。
- 2) 総代会への組合員の意思反映を図るため、年間を通じて総代のつどいや総代会議など定期で開催し、活動や経営状況、課題など広く組合員の声を聴く活動をすすめています。
- 3) 理事会は、常勤理事、非常勤理事、有識理事の26名で構成し、原則毎月1回定例開催と必要に応じて臨時開催により、経営上の重要な意思決定を行っています。
- 4) 常勤理事会は、常勤理事、副理事長、執行役員で構成し、所属長会議や管掌部門の統括し迅速且つ効率的な業務執行を図っています。
- 5) 監査体制は、有識監事を含む4名で監事会を設置し、理事会から独立する機関として理事会や常勤理事会など重要な会議等へ出席し意見を述べるなど理事の業務執行を監査し総代会へ報告します。
- 6) また理事長は、業務執行の適正性を確保するため、内部統制委員会や内部監査担当を設置しコンプライアンスやリスク管理など、日常業務の執行状況をチェックする機能を図っています。
- 7) 会計監査法人は、会計監査を行い総代会へ監査報告書を提出し報告します。

2. 内部統制基本方針

- 1) 2008年4月に改正された生協法は、内部統制を義務化している会社法に準拠したガバナンスを踏まえ法整備されました。コープしがでは2009年11月理事会で「内部統制基本方針」を議決し内部統制の取組みをすすめています。
- 2) 基本方針の概要
  - ①コンプライアンス体制の確保  
コンプライアンス（倫理・法令遵守）基本方針と自主行動基準を定め、コンプライアンス重視した行動を実践、またヘルプラインを設置し内部通報やハラスメント対応などを図っています。
  - ②情報管理体制の確保  
法定や機密情報、個人情報や重要な文書などは、文書管理規程や個人情報保護規程などの定めに従って保存管理しています。また電子文書などの管理は情報セキュリティ方針により電子情報ファイルの安全管理を図っています。
  - ③リスク管理体制の確保  
リスク管理規程により組織全体や部門でのリスク管理を徹底し、特に組織に重大な影響を及ぼす重点リスクは優先順位を明確にし発生防止や軽減策をすすめています。
  - ④職務効率性の確保  
理事会の業務執行を効率性を確保するため、執行役員制度の導入や常勤専門スタッフの配置、職務権限規程や稟議決裁基準・職務分掌など諸規定により明確にし、職務執行の効率化と適正化を図っています。
  - ⑤グループ管理体制の確保  
子会社グループ経営指針によるグループ会社管理規程を定め、子会社へ常勤理事や取締役を派遣し、業務執行の把握と重要課題の審議、子会社の事業状況を定例理事会への報告等を行い、監査は子会社監査役のほか監事監査や内部監査など実施しています。
  - ⑥監査体制の確保  
監事による監査の実効性を高め、監査職務の円滑な遂行を確保するために監事の職務を補佐する監事会事務局を配置しています。監事が理事会のほか重要な会議に出席し、必要に応じて意見を述べる機会を確保しています。



コープしが：スパイラルマーク



地球上にすむ生物は、一つの生命体から進化した家族であり、それらは地球から多くのことを学び、発展してきました。1993年3月、滋賀県の4生協は“自然・世界とともに発展する生協”をキーワードに「コープしが」として新たに発足しました。シンボルのスパイラル（うず巻き）は、コープの「C」を表すほか、巻貝、蔓、渦、波紋、風などの自然を象徴し、さらに、求心と拡大、進化の軌跡などの発展を象徴しています。私たちは、いつも大きな共同体の一員であることを意識して生きていきたい。そして、「公平さ」「賢明さ」を大切にしていきたいと思ひます。

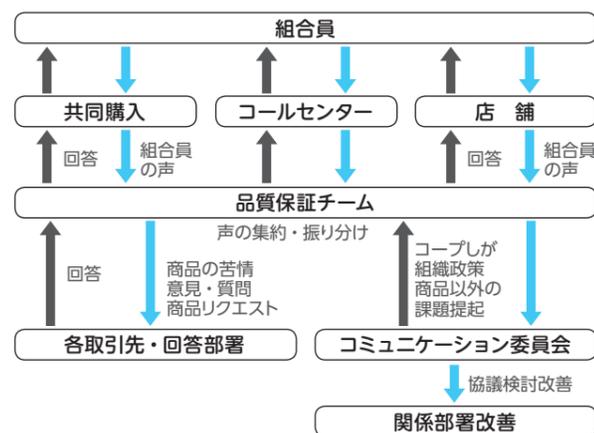
# コープしがは、 組合員一人ひとりの声を きちんと受け止めます。

## コープしがの組合員の声を受け止め活かす取り組み

組合員の皆様より声を頂く部署として、頂いた声を大切に「私もひとことカード」や「ばくばくメモ」などのも含め、コミュニケーション委員会で問題点の改善協議や組合員の皆様の思い、事例の研究の実施などによりコープしが全体で受け止め、共有化を行っています。

組合員コールセンター 藤澤センター長

### 組合員の声フロー



## コミュニケーション委員会で検討している事例

### 事例①：私もひとことカードにて

#### 【夕食サポートについて】

**(組合員の声)** コープしが夕食サポートですが、1週間単位ではなく是非、1日単位にしてほしいです。仕事で遅くなるとわかっていときに注文できたらとても助かります一度考えてみてください。

**(検討)** 現状では1週間単位で受発注している関係で直ぐの改善は困難です。今後の課題として受け止めさせていただきます。

#### 【わけあり種なし柿について】

**(組合員の声)** 10月4回のわけあり種なし柿ですがいつもと違い口の中がしびれる程すごく渋い物がありました。渋柿を何か加工してあるのでしょうか？。残りの柿は食べる気持ちになれませんでした。

**(検討)** わけあり種なし柿に関して、渋かったというご意見が11件寄せられました。渋さの原因は渋抜き工程の不備によるものでした。生産者への申し入れを行い、不備の改善に努めます。



### 事例②：組合員コールセンター会話事例

#### 【配送時間について】

**(組合員の声)** 先週、先々週と配送が30分程遅いです。早くなる分は構いませんが「5時」と約束しているので絶対に守って欲しいです。本日5時必ずお願いします！

**(会話)** 組合員との約束（配送）時間は守ります。また、遅れた際のお詫び、遅れると予測できる場合の事前連絡を再確認します。

#### 【商品名の表示について】

**(組合員の声)** 今週届いたトウモロコシは、L寸と思って注文したが小さいサイズが届いた。案内書に「とうもろこし(L寸)小サイズ」とあるが意味が分かりません！

**(会話)** L寸は生産者用の規格サイズを表現していて、小サイズが通常サイズと比較した案内です。分かりにくい表現なので改善検討いたします。

### 事例③：うれしい声

**(組合員の声)** 都合でお休みしていましたが、注文再開します。よろしく願います。当地に30年以前から住みましたが、今は買い物難民になっています。実際に商品を見て買い物することが贅沢な事だと知るにいたりしました。

**(内容)** 家の事情で2ヶ月程お休みされてました。期間が経ったので注文書をお届けしたところ、ありがたいお声をいただきました。

**(組合員の声)** 野菜ジュースの産地や生産月日等詳しく調べて頂き本当にありがとうございました。文章で下さったので、嫁にも視覚で訴えることができうれしく思いました。

**(内容)** 野菜ジュースに関するお問い合わせを頂き、私もひとことカードの回答書をお届けしました。商品詳細を気にされていたのは組合員だけでなく、そのご家族も同様でしたので、文章による回答は全員が確実な内容を共有化出来るので大変喜ばれました。

### 事例④：事例研究報告

無店舗事業センターが取り組んだ「ガッカリされた事例研究」の結果について報告がなされた。

**(事例)** 産直キャベツが剥がしても剥がしても中まで腐っていました。袋の外からでも分かるくらいでした。

**(検討)** 「商品不良は遠慮なく連絡して下さい」という広報と連絡があった際は、しっかりと聞き真摯な受け止めが大切である旨を協議しました。

**(改善)** 組合員に「生協は組合員の声を受け止め、協議してくれるね」という認識を持って頂けるよう、定期的にスパイラルで「コミュニケーション委員会」取り組み掲載を検討します。

# コープしがは、 組合員一人ひとりの声を しっかりとつないでいきます。

## 組合員コールセンター

組合員コールセンターにお寄せ頂いた組合員皆様の声は、より良い生協づくりに繋げていきます。様々なお気づきの点など、お気軽に声をお寄せ下さい。

組合員の皆様に喜んで頂ける様、「ありがとう」の声を頂ける気持ちの良い電話対応を心掛けております。

中にはこんな方も…。毎週金曜日の商品をお届けしている組合員さん、何時も電話で注文される方が、水曜から金曜まで10回以上される方もいらっしゃいます、なかなか注文する商品が決まらず…。じっくりチラシを見て検討されている方もいらっしゃいます。

組合員コールセンター 藤澤センター長



## 〈直近3ヶ月の間合せ内容ベスト10〉

※受付期間：2011年10月20日～2012年1月20日

No	問い合わせの種類	お電話の件数
1	注文問い合わせ	5,254
2	配送関連依頼	3,558
3	留守・当番変更	2,456
4	頒布、予約変更	2,430
5	物流仕分ミス	2,130
6	スクロール交換返品	1,582
7	移管諸変更関連	1,478
8	ギフト迎春問合せ	1,131
9	夕食弁当(宅配)	916
10	農産不良交換返	894

### 共同購入・個配対象 (店舗は各店舗受付まで)

問い合わせセンター ☎0120-709-502

受付時間 (月～金曜日 8:30～20:00、土曜日 11:00まで)

電話注文センター ☎0120-190-502

受付時間 (月～金曜日の配達日の翌日 10:30まで)

## 組合員コールセンター 組合員対応週報

組合員コールセンターでは、毎日組合員のみなさんから寄せられる声を全職員・全職場で共有化するため、配達現場や店舗など、現場で起きている事実とその声を集め『組合員対応週報』を発行しています。

本部各部署や子会社も含め、私たちの仕事の成果や不十分な結果はすべて組合員に発信され返ることを共有しています。



# コープしがは、 食の安全・安心を追求します

## 【コープしがの食の安全・安心】

食の安全・安心は組合員の基本的願い、生協の原点と言えます。そんな願いに応え、コープしがは一貫して食の安全・安心を追求し続けます。福島原子力発電所の事故に伴う放射性物質の食品汚染など、新たな食の安全を脅かす問題に対しても、科学的根拠に基づいた安全確認と食の安全・安心に関する適切な情報提供に努めています。

佐原専務スタッフ

## ～食の安全・安心の再構築を目指して～

安全は科学的根拠や事実に基づき、心安まると書く安心は信頼やコミュニケーションの問題と言えます。生協では科学的根拠に基づく食の安全確保に努め、組合員の安心感に向けた食の安全・安心に関する広報や学習推進を行っています。

### ■ 放射性物質の検査と安全確認

原発事故以来、食品の放射性物質汚染や産地表示・検査に関する組合員の問い合わせや要望が多数寄せられるようになりました。コープしがでは、コープきんきと連携して東日本の産直産地の農産物や主食であるお米を中心に、公的検査機関による放射性物質の測定検査を続けています。国の暫定規制値を超えれば、その商品の取り扱いをしないと言う事前検査です。また、セシウム汚染の稲わらによる放射性物質が基準値を超えて検出された牛肉が市場に広がった問題でも、商品仕様書や畜産飼料の生産履歴管理・現地点検により、いち早く安全確認するなどの対応をとってきました。

放射能検査に限界があるものの、組合員の切実な不安・要望に応え、風評被害や優良誤認を招かない配慮をしつつ、放射性物質検査状況をホームページで公開しています。そんな安全確認を踏まえ、当該産地表示による組合員の利用選択をいただき、東日本の産直産地の農産物の取り扱いを続け、被災地の応援を行ってきました。



### ■ 食品添加物基準の見直しと商品取り扱い

生協の食の安全・安心の基本スタンスは、「最新の知見（科学的根拠や新たな事実）に基づき、食品添加物や農薬基準を都度見直し、きちんと組合員にお知らせする」というものです。食品添加物の最新の知見・専門家による安全性評価を行い、一部食品添加物や包装材料の基準の見直しを行いました。

また、安全性評価・添加物基準上問題のない亜硝酸塩使用の表示をきちんと行って組合員の利用選択に配慮してハム・ソーセージの取り扱いを始め利用が増えています。

### ■ 農産物の品質保証

商品政策・産直基準の見直しやあらためて産直協定を行う中、生産履歴管理による安全確認の一環として、従来の農産仕様書管理と残留農薬検査に加えて、GAP（適正農業規範）による産地の生産工程管理点検を強めています（28カ所）。

また、夏場の農産物の品温管理や入荷時の品質点検を強化する中、2011年度の農産苦情（返金・交換）を前年比で26%削減するなど、品質管理の改善もすすめています。

### ■ 組合員への食の安全情報提供

組合員の切実な不安と多くの問い合わせ・願いに応え、放射性物質と食の安全・安心に関する専門家学習会を皮切りに各エリアでの組合員学習活動を広げました。また、放射性物質の食品汚染に関する生協の基本的考え・対応に問い合わせの多いQ&Aを中心に、食の安全推進ニュースを6回発行しました。

### ■ 生産・製造加工先の点検指導

取引先に対して商品仕様書どおり製造されているかなど、産地・工場点検を計画的に実施し（57カ所）、産直の畜産・卵はコープしが産直畜産物基準に基づき飼料・投薬など飼育管理の確認と併せてサルモネラの検査や鳥インフルエンザ・口蹄疫の防疫にも配慮して衛生管理の定期点検を行いました（33カ所）。

また、地場のメーカー及び産直生産者を中心に、食品衛生管理の基本指導とGAP（適正農業規範）導入の研修会を行い、参加者の高い理解・満足度につながりました。



放射性物質と食の安全・安心学習会



取引先品質管理研修会

# コープしがは、地域社会と手をつないで 食の安全・安心と安定を目指します

## 【食の安全・安心と安定の社会的しくみづくり】

地域の生産・消費者団体と手をつなぎ、コープしがもかかわって出来た滋賀県食の安全・安心推進条例は、商品事故時の回収ルールや報告義務を危害の程度や拡散性に依りて定め、行政や事業者責任を明確にする一方、食の安心醸成のためには地産地消や食育を実践する消費者の大切な役割も明記されています。生産者と消費者が手をつなぎ、行政や研究者などと地域連携して、農場から食卓までフードチェーンでつながる食の安全・安心と安定供給を条例制定のように、社会的なしくみにしていくことが大切です。

佐原専務スタッフ

滋賀県食の安全・安心推進条例の第4章は地産地消等、「近い食」条例とも言える内容です。



## ■ 滋賀県内・県外との地域連携で取組む食の安全・安心

過去の中国餃子農薬事件に口蹄疫や鳥インフルエンザの発生、そして原発事故による放射性物質の食品汚染など、以前は想定していなかった問題に対して、社会的規制や地域連携による食の安全・安心と安定のしくみが問われています。

生協では原発事故に伴う放射性物質の食品汚染に関して、滋賀県・日本生協連を通して国に一層の検査体制や適切な情報公開、そして隣県に原発・びわ湖を抱える滋賀県の原発事故時の危機管理の見直しを要請しました。また、TPP（環太平洋経済連携）協定に対しても、行政・県生協連・研究者と連携し、学習活動や慎重に対応するよう国に申し入れ活動を行っています。

## ■ コープしがは地産地消・産直・県内開発の近い食をすすめます

滋賀県は耕地面積の92%を水田が占めびわ湖の逆水が利用出来る米どころということもあり、カロリーベースの食料自給率は5割もあります。

安心感・安定供給にもつながる、県内開発や地産地消に産直提携をあらためて強めています。その一環として地産地消シンポジウムや産直フォーラムを行いました。また、飼料米の圃場や産直牛の宝牧場で食農体験研修を行うなど、地場の生産者を中心に交流を深めました。

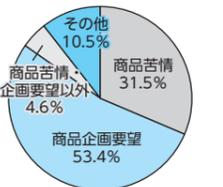


大好評の食農体験研修会の野外交流



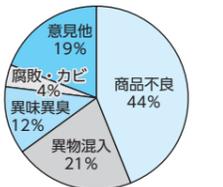
### 私もひとことカード

2011年度受付総数は8,629件となり、前年比84%と減少しました。内訳は、商品企画要望が4,604件（53.4%）と最も多く、次いで商品苦情（意見・要望・苦情）が2,717件（31.5%）、商品苦情・企画要望以外405件（4.6%）その他意見903件（10.5%）となりました。2011年度の特徴として、福島第一原発事故に伴う放射性物質による健康不安や食品汚染を心配する声が多く、7月よりスタートした夕食サポート弁当への感謝の声や要望なども多数寄せられました。



### 商品苦情

商品の相談申し出は1,472件となり、前年比77%と減少しました。原因別では、雑貨の不良、農産の腐りなどの商品不良が651件（44%）と最も多く、次いで食品への毛髪、昆虫、プラスチック片などの異物混入は323件（21%）、薬品臭、酸っぱいなどの異味異臭が184件（12%）でした。



### 1. 商品仕様書の点検

商品を企画する前に、原材料、管理添加物、製造過程、品質管理基準、包材表示などが細かく記載された商品の設計図ともいえる「商品仕様書」を必ず取引先に提出頂きます。商品仕様書をつひとつ点検を行い、全ての点検項目に合格するまでは商品の企画は行いません。管理添加物については、不使用品目は取り扱う全ての商品で使用しません。留意使用品目、保留添加物は必要性・有用性を考慮し、代替品目の検討、必要最小限の使用など組織内機関会議での検討を経ていきます。

- ①しが独自企画品の仕様書点検 536件
- ②管理添加物の使用報告 1,579件

### 2. 商品検査の状況

組合員に安全な商品をお届けするために、コープきんき事業連合の商品検査センター「コープ・ラボ」において、共同企画取り扱い商品の微生物検査、残留農薬検査、食品添加物検査、食品アレルギー検査など、より広い範囲の検査を行っています。また、コープしがでもしが独自企画商品、店舗商品、7月よりスタートした夕食サポート弁当の微生物検査などを実施しています。また、福島第一原発事故に伴う放射性物質の食品汚染の広がりにより、組合員の不安や心配に応えるため、産直および産地指定農産物を中心に放射性物質検査も実施してきました。

# コープしがは、滋賀県の地域に根ざした食づくりをすすめています。

## ～地産地消・産直・県内開発を積極的に取り組んでいます～

コープしがは商品政策として4つの柱を掲げ『“みんなの” “いつもの” 暮らしと社会に役立つ、生協商品』をお届けしていきます。  
★商品政策の4つの柱

1. “みんなの” “いつもの” 暮らしに役立つ商品を安定的にお求めやすく提供します。
2. 取り扱う商品全ての安全・安心を最重点に、品質保証に努めます。
3. 生産者・組合員の交流や地域の連携を大切に産直・地産地消をすすめ、食料自給率の向上や環境保全・循環型農業の推進を図り、地域振興と社会貢献を目指します。
4. 組合員の参加と声を大切に、商品・商品政策の見直しや多彩な商品活動をすすめます。

★1.2つめの柱…安全安心を最重点におき、みんなの・いつもの暮らしに役立つ商品をしっかり品揃えをすることを大切にしています。組合員一人ひとりの願いや暮らしが変化・多様化する中で、組合員に声を聴きながら、安全・品質基準等を確認できる商品の品揃え強化しています。

★3.4つめの柱…産直商品・地産地消の商品開発と商品企画を強化することにより、地域振興や社会貢献につなげます。持続可能な生産に配慮した産直は、環境保全・循環型農業の推進にもつながります。2011年度は環境こだわり農産物の産直米を中心とする滋賀県産米利用登録運動を展開し、利用していただくと1点10円をマザーレイク滋賀応援寄付する環境応援を生産・利用の側面から支援しました。合わせて県内産直・地産商品コーナーでは、滋賀県が取組む“おいしが、うれしが”と連携した商品品揃えや特産品などを強化しています。  
無店舗事業部 大岩執行役員

### 【県内・産直商品開発の目的】

地場の安全安心な商品を求める組合員の声によって2008年に立ち上がった組合員参加による県内商品開発委員会は、4年目を迎えました。現在は、産直商品も取り入れ、地域との連携による地産地消の推進や、継続的な産直事業をめざし、開発を進めています。2011年度は、お米の消費拡大をはかるため、米粉を利用した商品を中心に3品目の新規商品を開発し、現在ばくばくエコーでは委員会開発商品は15品目を企画しています。

無店舗事業部 中村統括マネージャー



2011年県内産直商品開発委員会の組合員のみなさん

### 【邑来食品「OH!みにぶたまん」

2011年度 新規開発商品

具材に産直近江豚（ウデ、モモ）を使用し、皮に国内産小麦粉、滋賀県産米粉を使用した近江豚は具材に対して約32%、米粉は皮の小麦粉に対して10%配合で、皮はもちもち、具はジューシなぶたまんです。



### 【ゆらい 邑来食品「OH!味すう〜ぶ餃子」

2011年度 新規開発商品

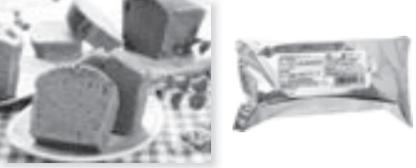
具材に産直近江豚（ウデ、モモ）を使用し、皮に国内産小麦粉、滋賀県産米粉を使用しました。近江豚は具材に対して約22%、米粉は皮の小麦粉に対して20%配合です。



### 【大山乳業「信楽高原紅茶のバターケーキ」

2011年度 新規開発商品

滋賀県産米粉を小麦粉に対し10%配合し、大山乳業のバターを約24%使用しました。また信楽高原紅茶を練り込んだ味わい深いバターケーキです。



### 【丸栄製パン「ちよい黒食パン・ちよい黒ワッサン」

2008年度 開発商品見直し

滋賀県産小麦を”ふくさやか”から、よりパンに適した長浜産の”にしのかおり”に変更しました。また滋賀県産小麦の配合率を50%から30%に減らすことでしっとり感が向上しました。



# コープしがは、生産者、行政、他団体をつなぎ、「滋賀県産」にこだわります

## 生産者や行政・研究者と地域連携し、地産地消をすすめます エサも地産地消やお米の消費拡大により、食料自給率や国土環境保全に貢献します

### —お米・ご飯のすすめ—

滋賀県はびわ湖の逆水が利用出来るなど稲作に適した環境条件があり、水田転作の麦・大豆や飼料米の作付けも増えつつあります。先進的な環境こだわり米の利用普及や休耕田の有効活用になる「エサも地産地消」の取り組みの一環として、産直米育ちさくらたまごの利用普及も進めてきました。そんな活動を通して、耕作・畜産農家の耕畜連携による循環型農業、及び水田フル活用による治水・環境保全など水田の多面的機能維持に努めています。

こういった地産地消の取り組みは、エコフィード（食料残さの有効活用）やフードマイレージ（食料輸入の重量と距離による環境負荷）の面からも、私たち消費者の大切な取り組みです。

### 【「地産地消推進協議会及び県内農産プロモーション（普及促進）」の取り組み

コープしがが事務局となって立ち上げた地産地消推進協議会を中心に、県内の主要な生産者や生協と一緒に、また行政やJAにもオブザーバー参加してもらいながら、地産地消の推進をしてきました。とりわけ、滋賀県の強みであるお米の消費拡大に力を入れ、「地産地消シンポジウム」を開催し「よそ任せでほんとにいいの？」というテーマで滋賀大学の堀越教授の基調講演を受け、生産者・消費者と行政・研究者による、地産地消を切り口に食料自給率や水田フル活用による環境保全やTPP情勢下の食料農業問題について意見交換を行い、好評を博しました。

滋賀県の委託事業を受けて、環境こだわり米を中心に店頭・配送添乗して県内農産物の普及促進を行いました。また、生協の米強化方針にも沿い、行政・地域諸団体と連携して、お米の消費拡大や水田転作の米粉の普及に向けた学習会や調理実習を行いました。

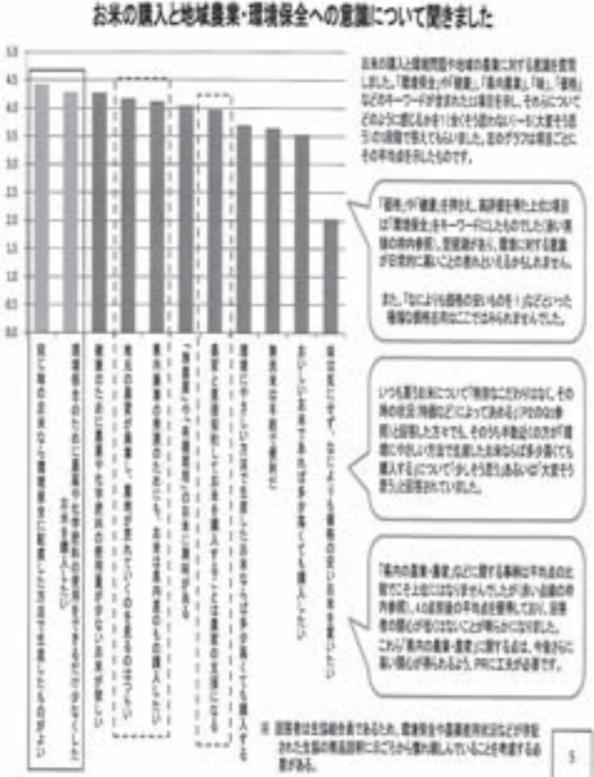
高齢化に担い手不足、そして耕作放棄地が増える今日の食料農業をめぐる大変厳しい情勢の中、少しでもご飯食や地産地消の取り組みを通して、環境こだわり米の普及による水田の多面的機能維持・環境保全や食料自給率向上に貢献したいものです。



地産地消シンポジウム



第16回環境保全型農業推進コンクール表彰式



滋賀県飼料米活用推進協議会を立ち上げて3年目を迎え、飼料米の県内作付けは473ha（前年比4.8倍）に増え、産直米育ちさくらたまごの親耕に12%自家配合給与しています。また、ラジコンヘリによる飼料米の種粉を直播きして栽培の効率化を図ったり、びわ湖の不要外来種の水草（オオカナダモ）と併せた産直米育ちさくらたまごへの試験給与や、組合員のお米の購入動機調査など、京都大学大学院の研究室と米消費動向調査の共同研究を行っています。また、そうした取り組みが社会的にも評価され、全国環境保全型農業コンクールで特別賞を受賞することが出来ました。

理念と運営体制

食の安全

地域貢献

組合員の活動

環境保全

事業内容

# コープしがは地域と共に みんなの力でくらしをささえあいます

1人ではできないことも多くの方が少しずつ関わることで、解決できることがあります。コープしがは、人と人をつなぎ、そして協同の力を紡ぎ出し、より良い暮らしづくりのお手伝いがしたいと考えています。

「誰かの手が借りたい」という時は、お互いさまの気持ちで組合員同士がささえあう「ささえあいサポート」に、「悩みを聞いてほしい」相談窓口を知りたいという時は、行政や専門機関をお知らせする「ふくし情報電話」にと「繋ぐ」そして「繋がる」こと大切にしたいと考えています。

福祉推進フロア 森岡サブマネージャー

## くらしの相互扶助制度「ささえあいサポート」

組合員同士がお互いさまの気持ちでくらしを支えあう、相互扶助制度として2006年にスタートしました。依頼受付件数は20,000件を越え、子育てから高齢者だけでなくさまざまな依頼がよせられています。

(2011年度実績は4,383件、7,888時間)



お留守番ワンちゃんサポート

高齢者宅のお食事づくり

ゴーヤの支柱の取り付けをお手伝い

### 【サポート内容】

家事援助、ペットのお世話、庭の手入れ、介護者の応援、託児サポートなど  
 利用料金 1,200円/1時間（一般的な活動）  
 1,600円/1時間（技術、体力がいる活動）  
 電話：0120-294-589（月～金9～17時）  
 FAX：077-574-1570  
 E-mail：fukushi@coop-shiga.or.jp

## ふくし情報電話の取り組み

「ちょっと知りたい」から「とても困った」ことまで家族介護や住宅改修のこと、子どもを一時保育してくれるところ、不登校や学校生活の問題、心の悩み その他どんなことでも、その方に役立つ情報提供や相談窓口への取りつなぎを致します。

電話 077-571-1561（月～金 9～17時）  
 FAX 077-574-1570（月～金 9～17時）  
 E-mail fukushi@coop-shiga.or.jp

## 地域の交流の場「ゆめふうせん」

「ゆめふうせん」は個人や団体など地域の方々に会議や学習の場として、また趣味の集いなどにもご利用いただいています。誰でも気軽にふらっと立ち寄れる屋根付き公園の「ふらっとプレイス」は憩いの場として、子どもたちが元気に遊び、お母さんたちの笑い声があふれています。

貸し室：500円/半 要予約（月～金 9時30分～17時）  
 ふらっとプレイス：予約不要（月～金 10時～16時）  
 ※貸し室、ふらっとプレイス共に  
 ささえあい協力金（100円/大人1人）が必要

作業所で働く障がい者の方々に造っていただいた特注のコープトラック



室内なので、雨の日も安心して遊べるふらっとプレイス

## 地域ネットワークを広げる取り組み 福祉ミニフォーラムを開催

組合員をはじめ地域の困りごとをみんなで考えてみよう、県内4カ所で「福祉ミニフォーラム」を開催しました。地域で活動する方々のお話にも耳を傾け、組合員の枠を越えて暮らしの困りごとなどを話し合いました。

初めて出会った同士でもう少し解けて話しかけることができました（高島会場にて）



フォーラムではラフターヨガも開催しました。みんなで大笑い!

# コープしがの 地域防災の取り組み

## 東日本大震災支援「希望をつなぐプロジェクト」

昨年3月11日に起こった東日本大震災は、関東、東北地方を中心に甚大な被害を起こしました。コープしがでは、3月12日に緊急対策本部を立ち上げ、組合員募金、職員を中心とした物資支援、理事会のお見舞活動、風評被害の産直産地の事業支援、コープ共済のお見舞活動と安否確認、拡大支援などを6月まで行いました。その後、東日本大震災支援協議会を設置し、引き続き組合員募金活動（3,665万円昨年9/30現在）をすすめ、8月にはボランティアバスによる南三陸の志津川漁協の支援を行いました。そして、12月から「コープしが希望をつなぐプロジェクト」として、職員を中心としたボランティアバス南三陸支援隊、滋賀県内に避難しておられる被災者支援、目的を限定した組合員募金を行いました。

## コープしがと協定を締結している自治体

滋賀生協連やコープしがでは、滋賀県や地域行との間で「災害時生活物資の調達に関する協定」を結び、防災訓練に参加し、大規模な自然災害等に備えています。

大津市	平成17年1月13日
愛荘町	平成17年1月13日
高島市	平成17年6月22日
近江八幡市	平成18年2月14日
彦根市	平成19年1月17日



大規模災害図上演習

2011 6/18	ファザーリング震災復興チャリティフォーラムで被災地産直産地の生産者による即売会支援
8/27	宮城県南三陸町志津川漁協への組合員ボランティアバス（参加者32名）
8/29～30	いわて生協 被災地訪問
9/7～8	みやぎ生協 被災地訪問
9/8～9	東日本産直産地訪問
12/4	第1回滋賀県避難者の会交流会
12/16～19	第1回ボランティアバス南三陸支援隊（職員28名）
2012 1/20～23	第2回ボランティアバス南三陸支援隊（職員18名、さざなみ会6名）
2/17～20	第3回ボランティアバス南三陸支援隊（職員27名、さざなみ会7名）
3/4	東日本大震災復興チャリティコンサート（参加者）
3/16～19	第4回ボランティアバス南三陸支援隊（職員25名、さざなみ会6名）



組合員ボランティア



コンサート



職員ボランティア

# 地域の安全を守る取り組み 組織あげて行う重大交通事故の再発防止策

## 交通安全の実践

平成23年9月5日（月）コープしが職員の運転する車両により人命を奪う重大な交通事故が発生させました。二度とこのような事故が発生させない決意の下、次のとおり再発防止に向けた具体的な取り組みを行います。

県民や組合員の皆様から、道路をお借りして生協活動させて頂いている謙虚さを持ち、「コープの車両は安全運転を実践している」と皆様に認めてもらえるよう、全組織を挙げて全力で取り組み、皆様の信頼に応えられるよう、安全運転の徹底に努めます。

### 【具体的な再発防止策】

1. 「安全運転の誓い」を設置し、全職員で遵守します。
2. 「安全運転実践行動」を各車両に表示し、外部にも遵守することを公言し、実践を確実にします。
3. 組合員、県民に向けて、安全運転宣言を広報し取り組みを誓い、さらに実践します。
4. 日常の車両運行について地域から道路をお借りして活動を行っている認識を常に持ち、安全運転に取り組みます。とりわけ高齢者や子どもをはじめ、地域の方々の安全を第一に、配慮ある運転を実践します。

5. 教育・研修・啓発活動を日常的に行います。
6. 過去に起こった事故を振り返り、訓練を日常的に生かします。
7. 安全運転管理に関する賞罰及び損害賠償細則の適用を厳密に実施します。

事故発生状況（3月末累計）			
車両台数	2011年度	2010年度	2009年度
169	56	56	48

## 「飛び出し注意」看板の設置

地域の安全確認の注意が必要な場所に、「飛び出し注意」看板を組合員や自治会などに紹介し、県内に約1,600枚が設置されました。



## 「子ども110番のくるま」地域の見守り活動

2004年から行政や警察、教育委員会などみなさんとともに、配送車両にステッカーを貼って、地域の見守り活動をすすめています。



# 様々な世代や多様な ライフスタイルに応じた活動参加ステージ

コープしがでは「一人ひとりの想いや願いを協同の力でかなえていく」ことをめざして「組合員どうし」「生産者と消費者」「地域と生協」をつなぐ多様な取り組みを進めています。

## 商品の活動

### 第8回産直フォーラム

2011年11月・12月に産直生産者との交流を中心とした取り組みとして産直フォーラム地域分散会を、また2012年2月には地域分散会での取り組み報告や生産者との交流を通して「産直のつながり・ひろがり」について考える産直フォーラムを開催しました。



### 生産者との交流

コープしがでは産直産地への訪問交流を活発に行っています。参加された組合員からは「生産者の顔と商品がわかり、食べものの事を考える体験ができました。」など多くの感想をいただいております。一人ひとりの貴重な経験や思い出となり、話題づくりや産直商品の購入につながっています。



### 企画・準備して学習する集まり

各地域の地域委員会では、暮らしに役立つ講習会（オーラルケア学習会等）や生協商品（牛乳や冷凍魚等）を使った料理講習会、体験学習会（防災学習会等）など、楽しく学び、ためになる催しを企画運営しています。

## さまざまな組合員活動

### ばくばくパーティー

おしゃべりの楽しさ、家族の語らいの場を商品セットの提供を通じて支援する「ばくばくパーティー」。7～8月の6週間で5772パーティー、のべ19704人が集う取り組みとなりました。パーティー終了後に提出いただく「ばくばくメモ」は役職員で読み込み、組合員のくらしの実感や生協への想いなどを共有化し、事業に活かしています。

#### こんな声を、頂いています

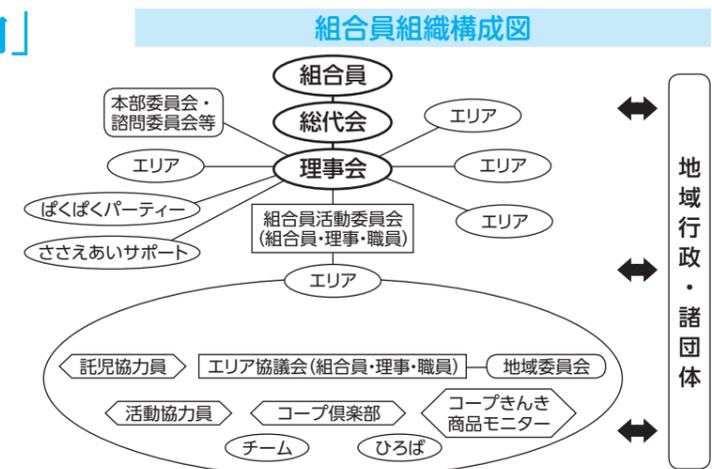
- 毎週の配達を楽しみにしています。商品案内書からいろいろな情報を得られ助かっています。
- 子どもがコープの共済に入っています。ケガでの通院や、また、友だちのゲーム機を壊してしまった時にも対応していただきましたのでとても助かりました。
- 放射能のことがとても心配です。特に小さい子どもさんのいる家庭は不安で大変だと思います。
- 今年は暑い日が続きますが節電に協力してできることから始めたいと思います。窓を開けて自然の空気を入れてエアコンの使用を極力控えていきたいです。



# 組合員みんなの想いが つながって、広がって

## 組合員による「運営と参加」

組合員の活動は、県内を7つのエリアに分け、「エリア協議会」を中心に、行政区単位を基本に設置されている36の「地域委員会」が各地域で様々な活動に取り組んでいます。コープ商品学習会や産地見学など、学び知り、知らせる交流の場作りを行っています。また個々の組合員は、学びの場コープ倶楽部やひろば活動・チーム活動など感心や興味がある活動・催しなどに参加しています。



## 平和を願う活動

### ヒロシマ平和学習・ユニセフ

#### ヒロシマ平和学習

組合員からの募金で、ヒロシマ虹のひろばと平和記念式典へ参加しました。

原爆資料館の見学、平和記念式典参加、碑めぐりなどを通して、戦争の恐ろしさや日常生活の幸せ・平和を感じることが出来ました。

参加した子どもたちの通う学校では発表の場が設けられ、模造紙にまとめた写真やコメントを報告しました。

また、ピースアクション2011しが実行委員会と連携し、平和講演会を実施し、平和を願う活動交流がすすみました。



#### ユニセフ

（財）日本ユニセフ協会へ2,169,850円の募金を贈呈しました。また、東日本大震災の救援募金にも取り組み250万円を送金しました。COOPコアンロール（トイレトペーパー）を利用することで、直接ユニセフ募金へとつながる取り組みも行っています。

#### 災害支援

東日本大震災の救援募金では日本生協連へ3,422万円、ユニセフ協会へ250万円の組合員募金を送金しました。また2010年度剰余金からの義援金として被災地に700万円、被災地生協見舞金として300万円をおくりました。台風12号災害救援募金は580万円の組合員募金を送金しました。東日本大震災・台風12号被災地ボランティアにも取り組みました。

### 2011年組合員募金活動の実績

ユニセフ募金一般募金	1,669,850 円
ユニセフ・ラオス指定募金	500,000 円
ユニセフ協会（東日本大震災募金）	2,502,181 円
東日本大震災救援募金	34,223,804 円
台風12号災害救援募金	5,808,784 円

理念と運営体制

食の安全

地域貢献

組合員の活動

環境保全

事業内容

# 持続可能な社会の実現に向けた事業と活動を通じた地球温暖化防止と環境保全活動

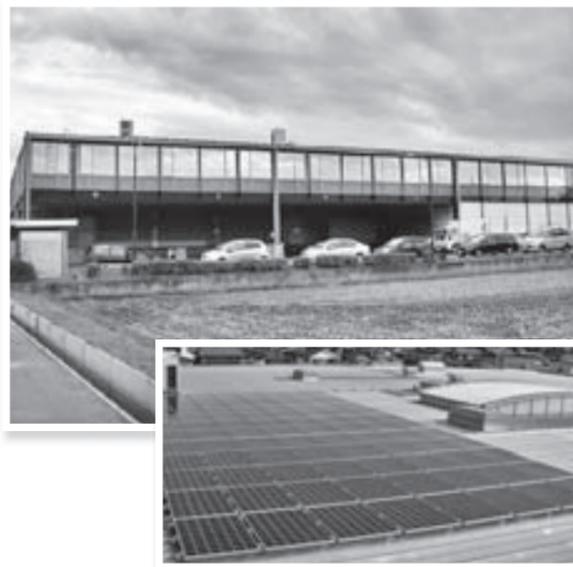
コープしがでは、持続可能な社会の実現に向けて、地球温暖化防止の取り組みをすすめています。

滋賀県の世帯数の約3割を組織する組織の果たす役割を踏まえ、組合員が生協の事業や活動に参加することで地球温暖化防止や滋賀の環境保全活動に関わる取り組みをすすめています。また9月第1土曜を「コープしがびわ湖の日」とし大津市などでのびわ湖清掃活動を行っています。

地球温暖化防止を中心に「環境政策」を見直し、事業の排出物削減や太陽光パネル発電の設置、LED電球の設置、さらにBDF100の導入などをすすめています。

## コープしがで消費する電力の一部は太陽光発電でつくられています

### ■ 野洲本部（発電容量20kW）



### ■ 中央大津センター（発電容量10kW）



コープしがでは、「コープしが環境マネジメント方針」に掲げられた、持続可能な社会の実現に向けて、地球温暖化防止や滋賀の環境保全活動について、総合的な取り組みを行うという理念に則り、太陽光発電システムを導入しました。これにより、積極かつ継続的な地球環境保護に貢献する改善活動を推進しています。

### ■ BDF100%配達車両の導入

今年度、廃食油を原料とする燃料100%で走る配達車両を4台導入しました。これまでのBDF5\*より環境への貢献度が高く、二酸化炭素の排出はゼロと算定されます。

\* BDF5とは、軽油にBDFを5%添加した燃料です。



### ■ 草津センター（発電容量10kW）



### ■ 南草津センター（発電容量10kW）



### ■ 「みるエコおうち」

滋賀県は2030年CO<sub>2</sub>削減50%目標に温暖化防止対策をすすめています。

「みるエコおうち」は日常生活での省エネ・省資源行動や電気・ガスの使用量などをインターネット上で記録することにより、家庭でのCO<sub>2</sub>削減の「見える化」を図り、一層の取組への意欲へとつなげていただけるよう、平成20年11月より滋賀県が提供しているWEBサイトです。

コープしがでは現在、組合員や役員など100家族が登録しCO<sub>2</sub>削減チャレンジに取り組んでいます。  
<http://www.biwaco2.jp/>



### ■ マイバック持参運動

コープしがでは、「地球環境のためにできることはお買い物から考えよう」とマイバック持参運動に継続して取り組んでいます。レジ袋は1枚5円の有料化として、2011年度は全店舗で95%と非常に高い持参率となっています。

レジ袋代金は、店頭のリサイクルBOXの購入など環境活動の費用にあてています。



コープぜぜリサイクルBOX

### ■ コープしが・びわ湖の日

9月の第1土曜日を「コープしがびわ湖の日」として地域で清掃活動などに取り組んでいます。

2011年度は残念ながら9月3日に予定した長浜での清掃ウォーク（参加予定300人）と、東地区事務局企画の宮ヶ浜（参加予定100人）での地引網体験は台風のために中止になりましたが、南地区事務局の「沖ノ島へ行こう」企画には87人が参加、西地区の北小松での地引網体験企画83名が参加し、それぞれにびわ湖の大切さを考える場となりました。

### ■ 「環境配慮商品」の普及について

農産物や生活用品など環境配慮商品の普及活動を広報誌スパイラルなどで情報提供しています。店舗では6月と10月に年2回の洗剤キャンペーンに取り組んでいます。



環境商品：トイレットペーパー

環境商品：環境こだわり米

### ■ 2011年度COOP洗剤環境活動寄付金

コープしがでは5月～10月までの期間、セフターE、セフター漂白剤入、液体おおぞらなどの各アイテム1個につき1円、利用実績61,525点、61,525円の寄付金をマザーレイク滋賀応援基金（滋賀県）に寄付しました。



セフターE

液体おおぞら



沖島へ行こう



「コープしがびわ湖の日」大津市北小松地引き網&清掃

### ■ びわ湖&西の湖の環境を守る「ヨシ刈り」

ヨシ原は、魚の産卵場所や野鳥の生息地となっています。また、水質の浄化作用などいろいろなたらきがあります。そのヨシを冬に刈ることで、また立派なヨシが生えてきます。コープしがは地域の団体や企業とともにヨシ刈りボランティアに参加しています。今年度は大津市小野駅下、近江八幡市西の湖のヨシ刈りを実施しました。



コープしが西の湖ヨシ刈りボランティア



ヨシでびわ湖を守るネットワーク（東近江市伊庭内湖ヨシ刈り）

# 商品案内書や卵パック、 ペットボトルなどの再資源化 リサイクルの取り組み

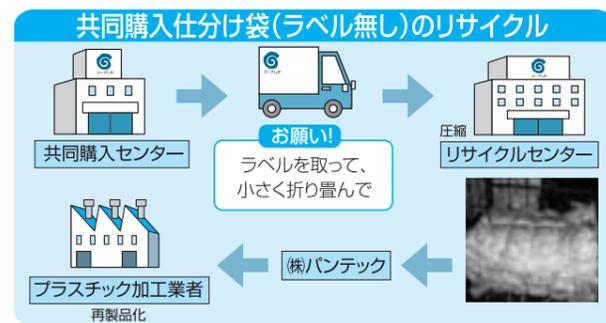
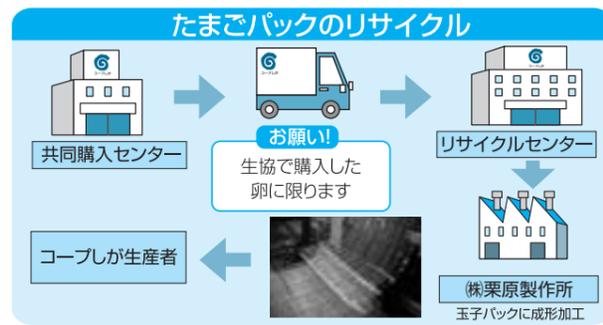
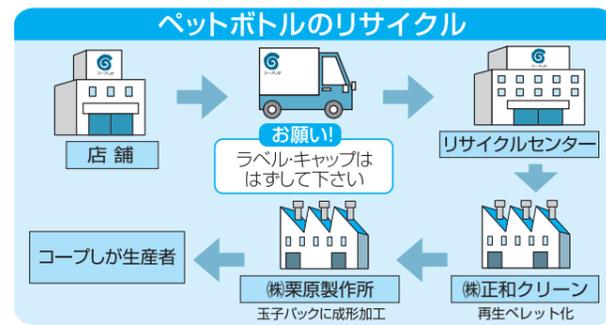
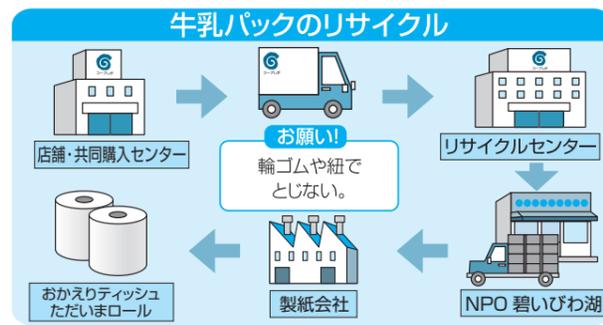
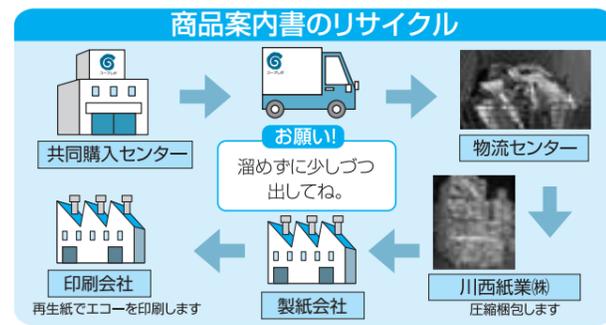
コープしがでは、環境マネジメント方針にもとづいて、持続可能な循環型社会を目指すため、事業や活動で排出する廃棄物を資源リサイクルすることにより、環境への負荷の軽減を図っています。

各事業所から排出、組合員から回収したリサイクル資源は、主にコープしがリサイクルセンターに集約され、圧縮処理などを行って、リサイクル業者に引き渡し、再生原料として活用されています。店舗の生ゴミなどの事業系廃棄物は、廃棄物処理業者によって飼料等へ再資源化を行っています。

リサイクルの実績は、組合員には広報誌「スパイラル」で情報提供し、店舗ではリサイクルBOXにリサイクル状況やお買い物袋持参率を掲示しています。



## リサイクルの流れ



### 用語解説

- 【サマーリサイクル】 廃プラスチックを固形燃料などに加工または破碎して直接燃焼させることによりエネルギーを回収する方法。そして、回収されたエネルギーを、発電や冷暖房及び工場などの熱源として利用すること。
- 【マテリアルリサイクル】 使用済みのプラスチックを細かく破碎したうえで溶かすなどして、もう一度プラスチック製品に再生し、利用すること。
- 【グリーン購入】 商品やサービスを購入する際に必要性をよく考え、価格や品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先的に購入すること。

# ISO14001 環境マネジメントシステムによる 継続的改善

コープしがが発足した1993年第1回総代会の特別決議で「環境元年宣言」を行い、琵琶湖を擁する滋賀県の自然環境保全を積極的に取り組むことを社会へ宣言しました。1995年には、環境マネジメントの自主管理をスタートさせ、1999年にISO14001の認証を取得しました。

## 「環境元年宣言」

私たちは、自らの暮らしを守るため70年代より食の安全性を求める運動起点として今日まで活動を続けてきました。また琵琶湖を擁する滋賀県の生活者として、石けん運動をはじめとした水環境を守る運動にいち早く取り組み、全国に於いても環境活動の先駆者的役割を果たしてきました。しかし、環境問題は今や総合的視野に立って取組むことが求められています。

こうした中、昨年20年ぶりに国連環境開発会議（地球サミット）が開催され、環境問題に対する国際協調は深まりつつあります。今、地球規模ですすむ環境破壊に対して、私たち地域生活者が環境問題を自らの課題として考え、行動することが求められています。

生活協同組合コープしがの出発にあたり私たちは、環境問題を正しく認識し、21世紀に向けた以下のような活動に積極的に取り組みます。

1. 「環境にやさしい」視点で私たちの運動・事業を見直す活動を推進します。また、環境監査制度の導入に向けた活動を推進します。
2. 琵琶湖を擁する滋賀県の生活協同組合として、自然環境の蘇生に向けた活動をあらゆる角度から考え、行動します。
3. 環境問題を学習や活動を通して、私たちの問題として再認識し、次代を担う世代に残せる自然環境を守る活動を推進します。

以上、「生活協同組合コープしが環境元年」を宣言します。  
1993年5月17日  
第1回生活協同組合コープしが通常総代会



2011年度 ISO 更新審査



## コープしが環境方針

### 【理念】

コープしがは、「自立した市民の協同の力で、人間らしい暮らしを創造し、持続可能な社会を実現する」という21世紀の生協の理念に基づいて、環境問題を生協運動の根源的な課題として位置付け、率先して取り組みを進めます。さらに、琵琶湖を擁する滋賀の生協として、「近畿のみずかめ」「大切な水源」を守るため、琵琶湖を保全する活動に積極的に取り組みます。

### 【方針】

1. 環境に関連する法規制、及び組織が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 事業活動を通じて、環境に配慮した商品の提供、エネルギー資源の効率的な使用と温室効果ガスの削減、環境に配慮した事務用品の使用、廃棄物の削減・リサイクルに取り組みます。
3. 県内の森林整備に貢献するため、コープの森づくりを推進します。また、滋賀県の豊かな自然を保全するための環境活動を推進します。
4. 「2020年度に向けた環境政策」の実現に向けた環境目的・目標を定め、目標達成のための施策を明確にして実践します。なお、この環境方針と目的・目標は年一回見直します。
5. 全役員がコープしがの環境に対する理念や政策を認識し、環境方針に沿った行動を実践するよう、教育を徹底します。

### 【環境マネジメントシステムの継続的改善】

1. 事業活動に伴う環境負荷の低減と自然環境の保全に有効な諸活動を推進できる環境マネジメントシステムを構築し、システムの見直しと改善を計画的、組織的、継続的に行いシステムの完成度を高めます。
  2. 環境マネジメントシステム適用の範囲外である子会社、関連会社、コープきんき事業連合、業務委託会社などとの連携を強め、環境マネジメントシステムの有効性をさらに高めます。
- この環境方針は内外に公開するとともに、環境活動の取り組み状況を定期的に公表します。

2012年3月23日 生活協同組合コープしが  
理事長 西山 実

# 2011 年度環境活動の実績

## 資源・エネルギー・廃棄物削減の取り組み

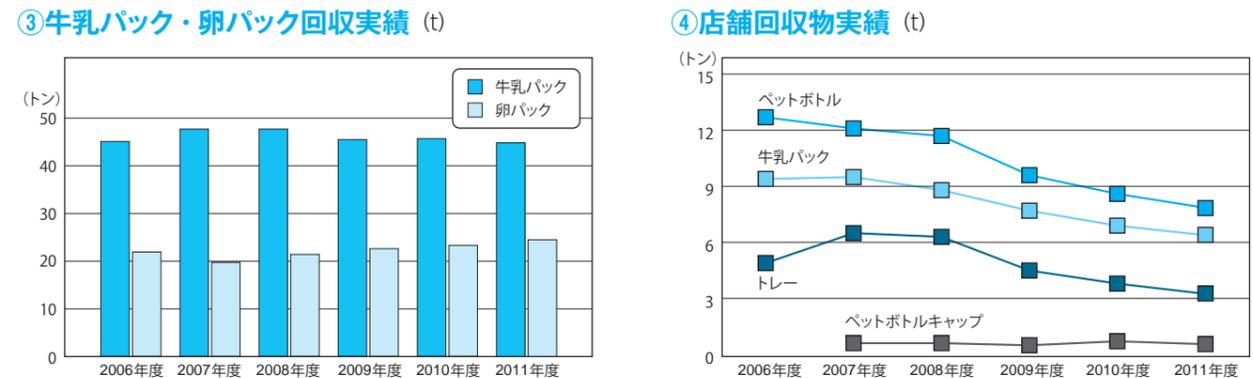
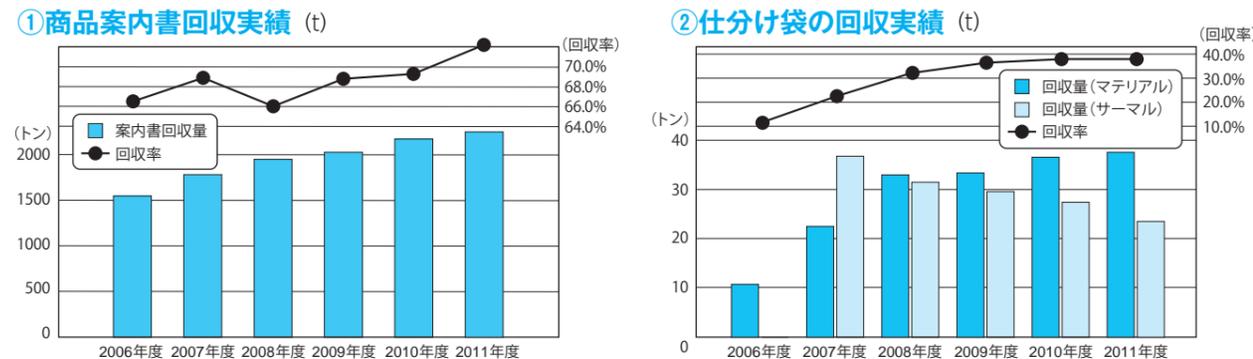
事務用紙は配布物の整理や両面使用の徹底などで削減が進み、さらに古紙を70%配合したグリーン購入法適合品への切り替えをすすめました。(使用率81%) 廃棄物は、分別管理の強化や生ゴミの飼料へのリサイクルなどに取り組みましたが全体では若干増加することになりました。電気使用量は、省エネ設備や太陽光発電を導入したことや、全事業所で節電の取り組みを行ったことにより、前年実績を大きく下回りました。



## リサイクルの実績

コープしがは、各事業所からの排出物の分別リサイクルと、組合員に供給した商品の包装材などの回収・リサイクルに取り組んでいます。2011年度の案内書回収率は72.3% (前年比+3.5%)、仕分け袋回収率は38.3% (前年比+0.4%)と年々向上してきており、組合員さんのご協力のおかげです。これらは、それぞれ資源として売却しています。

※回収物(サーマル)は、ラベルが付いたままの仕分け袋や、青果物の緩衝材などで、材質が混在しているためコープしがが処理費用を払って圧縮固化し、製紙会社などの燃料に使用されます。



# 2011 年度環境マネジメントプログラムの結果

2011年度の環境目的目標として、事務用紙・廃棄物・電気は前年度実績の維持を基本とし運用管理しました。また、コープしがの事業活動において、各部署・事業所で本来業務と関連づけて環境に関わる目標を設定し、環境マネジメントプログラムとして進捗管理しています。2011年度は25の項目に取り組み、20項目で計画を達成しました。

## 2011年度環境目標 (環境マネジメントプログラム) と評価

目的	到達目標 (数値目標)	評価
飼料米の取り組みを進化発展させ、採卵鶏・県内以外への活用対象を広げる。そして、琵琶湖の水草の有効活用と併せてエサの地産地消割合を増やし、エコフィード・フードマイレージの環境負荷軽減に貢献し、環境こだわり米を中心とした地産地消をすすめる。そのことで、水田フル活用による治水・国土環境保全など水田の持つ多面的機能維持に努める。	飼料米 59ha・380トン超の作付けと畜種拡大活用及び採卵鶏への15%給与に、琵琶湖の水草エサの活用と併せてエコフィードをすすめる。また、エサの地産地消・自給率5割以上を目指し、飼料米を通じた耕畜連携による循環型農業に貢献する。	○
環境こだわりの近江米を中心に県内農産物の地産地消をすすめる。その為に行政連携・補助金200万の助成金の有効活用を果たし、プロモーション事業目標達成を目指す。	環境月間の6月度、8月度スパイラルにて環境配慮商品の案内・商品のすすめをおこないます。また地産地消・産直商品の普及活動は、スパイラルへの掲載・組合員活動での学習活動などすすめます。産直米普及企画、田植え稲刈りのべ参加400人、コープ倶楽部で米学習会100人参加	○
洗剤のほか、環境に優しい住居関連品をくらし応援価格に設定し、普及する。	日本生協連の企画に連動し、キャンペーンを6月と10月の2回実施。	○
年間通して県内産品には案内(おいしが・うれしが)を装着し、第3土・日曜日発行のセールチラシで県内産品を掲載しアピールする。	第3週のセールチラシ(コープぜぜのみ)の県内産品においしが・うれしがマークを表示する。	○
【商品普及に向けて】環境配慮商品の利用拡大を更にすすめる。また地産地消・産直商品の普及活動を更にすすめる。	環境月間の6月度、8月度スパイラルにて環境配慮商品の案内・商品のすすめをおこないます。また地産地消・産直商品の普及活動は、スパイラルへの掲載・組合員活動での学習活動などすすめます。産直米普及企画、田植え稲刈りのべ参加400人、コープ倶楽部で米学習会100人参加	○
県内産開発商品を含めて県内産商品を強化し、企画回数を増やす。	県内産開発商品・県内産商品の企画回数を2010年度比110%、(1,262回)に増やす。	○
県内産の環境こだわり米と無洗米の利用を促進して、田んぼから、台所から琵琶湖にやさしい産直米の利用を促進する。	県内産環境こだわり米と無洗米の利用登録による利用点数を期末累計で36,319点、前年比110%を目指す。	×
共済契約申込書の不備率軽減に取り組み、作業の効率化と事務用紙削減に取り組む。	不備率5%以下を維持する。	×
組合員からの回収物や事業所廃棄物を資源としての有効活用を目的に、リサイクルルート・分別方法・減容方法などを調査し、廃棄物の有価物化と事業化を推進する。	リサイクルルートなどの見直しによるコスト削減と、リサイクル量・率の向上。	○
仕分け袋の回収率を高め、資源循環社会と資源の有効利用をすすめる。	仕分け袋(白ネット)の回収率を2010年度実績97.9%より約2%高めて、40%を目指す。	×
組合員からのリサイクル回収を継続し、店舗では、情報提供・回収時の約束事の徹底を図る。	毎月の回収量を店頭掲示で情報提供する。	○
店舗生鮮部門での在庫状況を把握し、前年度廃棄ロス率を上回らないよう管理して、廃棄物削減に取り組む。	前年度廃棄ロス率を上回らないよう管理する。	○
レジ袋の有料化を継続し、買い物袋の持参を呼びかけて省資源化を進めまする。	お買い物袋持参率の把握と、実績の店頭掲示で啓発を行う。(持参率95%の維持)	○
無店舗事業センターのステーションや店舗などで、廃食油の回収拠点を増やす。	廃食油の回収拠点を4カ所以上増やす。	○
【循環型社会に向けて】仕分け袋・商品案内書などの資源回収率を高める広報を行う。地域の環境問題、資源問題について学ぶ活動を行う。	・毎月資源回収実績の案内と、年1回資源回収を高める広報をおこなう。 ・地域委員会・コープ倶楽部などで環境・資源問題を考える取組を実施する。(コープ倶楽部環境学習会参加100人)	○
インターネット注文を増やすことで、不要なCOR注文書の発行を停止し、省資源に取り組む。	インターネット注文者の内、OCR注文書停止者の割合を75%にする。	○
不要な案内書発行を減らすとともに、回収率を高め、資源の有効活用を図る。	案内書発注利用率(利用人数÷発注部数)を10年度実績(72.0%)から3.5%高め75.5%を目指す。	×
各事業所の省エネ対策を計画的に実施します。	投資計画に基づく各事業所の省エネ対策の年度内実施し、その効果を評価するとともに、今後の計画に活用します。	○
BDF5利用車両の増加に向けて、給油方法など具体的な課題の検討を進める。またBDF100%導入の実験を行う。	BDF100%使用車の導入テストを2カ所以上の事業所で実施する。	○
荷下ろしミスの防止に取り組む。個別指導を強め、全体だけでなく、個人単位での計画達成を目指す。	荷下ろしミスの発生を、1カ月9枠・3件以内(全体461件)に抑える。	○
【生物共生社会に向けて】「びわ湖の日」の環境活動を中心に、県・行政・環境NPO団体と連携し、各エリア・各地域委員会が環境活動を実施する。	びわ湖を守る取組「コープしがびわ湖の日」には各地域で環境活動を行う。(参加者:びわ湖の日400人、ヨシ刈100人)	○
廃棄物の分別を強化し、最終焼却される廃棄物の廃棄量を管理する。	最終的に焼却処分される廃棄物量を、21,880kg以下に抑える。	×
事務用紙の使用は各事業所単位で使用計画を策定し、使用管理する	事務用紙の年間使用量を35,488kg以下に抑える。	○
電気の使用は各事業所単位で使用計画を策定し、使用管理する	事業所ごとに目標を設定し、年間で423万kwh以下に抑える。	○
事業所のCO2排出量算出の基礎となるエネルギー使用量を把握する	実績報告の期限内提出。	○

理念と運営体制

食の安全

地域貢献

組合員の活動

環境保全

事業内容

## 2020 年に向けた新たな環境政策 (抜粋)

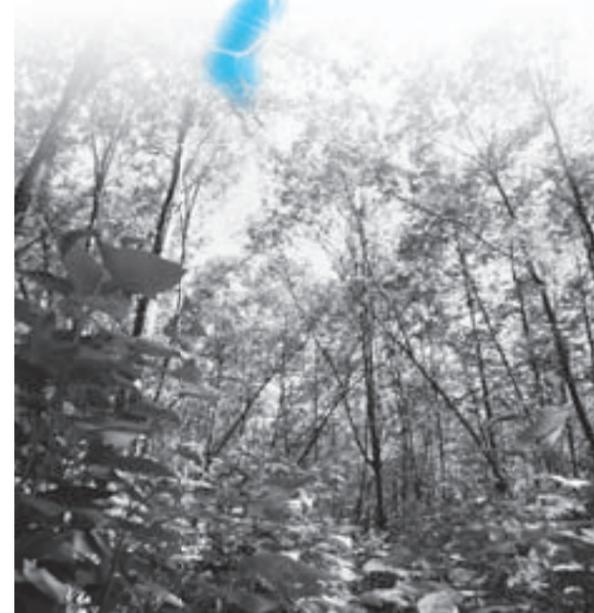
2012年度からの3年間では、「地域社会から生協が見える活動」、「コープしがの組合員を中心としながらも多くの県民が参加できる活動」、「事業者として率先して取り組むべき活動」の三点を大切に重点的な取り組みを設定します。また、環境政策の補強・見直しや進捗状況の点検・評価を行うために環境政策推進委員会を設置します。

### 【2012年度～2014年度の重点取組】

#### ①コープの森

滋賀県の面積に占める琵琶湖の割合は6分の1ですが、実は森林の面積は2分の1になっています。これらの森林が琵琶湖の水を育み、温暖化防止にも大きな効果を発揮しています。しかし、森林を中心とする社会システムが崩壊し、多くの森林が手入れ不足となり、森林の持つ様々な機能が失われつつあります。わたしたちは、森林を所有する方々と手を結び、森林の保全活動に協力するとともに、交流を通して互いの成長をめざします。多くの組合員が森林に触れる機会を創出し、「コープの森」を地域の産業や文化との交流拠点、新たな事業の拠点へと発展させたいと考えています。また、滋賀県の森林は琵琶湖の大切な水源でもあり、多くの生協にも「コープの森」の情報発信していきます。

成長するのに長い期間を要する木を対象とする森林の保全活動は、短期間で成果が出るものではありません。社会的に責任ある活動とするためにも長期間の保全活動を保証できる資金的な裏付けも行います。



#### ②自然を大切にすることを育む活動

私たちは、滋賀県の豊かな自然を次世代につなげる使命を持っています。次の世代も同様に、代々、繋ぎ続けていかなければなりません。そのために、私たちは、自然を大切にすることを育む活動が重要だと考えています。あらゆる世代を対象に、豊かな自然に触れあう活動や自然を保全する活動を展開し、自然について考える機会を積極的に提供していきます。

また、一年間の様々な活動を「環境活動白書」として整理し、社会に伝えるとともに、次世代に引き継げるようにしていきたいと考えます。

※環境活動白書は、CSRレポートとの連携を大切に、作成・使用します。

#### ③事業における省エネ活動

日本生協連の4つのテーマにも上げられていますが、発電にともなう二酸化炭素排出量が今後どのように変化していくか予測することは困難になっています。長期的な二酸化炭素排出量の削減目標は暫定数値として位置付け、今後3年間は、電気使用量の削減目標と業務車両の燃料削減目標（自然由来燃料への切替を含む）を明確にして取り組みを進めます。

電気使用量削減に向けては、再生可能エネルギーを活用する太陽光発電の導入や設備機器の改善を行います。また、コープしがにおいて二酸化炭素排出量が最も多い車両燃料の分野では、電気自動車の実験導入、燃費の改善と軽油からBDFへの切替に取り組めます。また、BDFの原料確保に向けた取組や新たな自動車燃料の調査も進めます。

#### ④資源循環事業

コープしがの事業に由来する廃棄物は、コープしがの各事業所だけでなく、委託先の物流センターや組合員の家庭でも排出されています。これらの廃棄物を可能な限り資源化し、社会に循環させる事業を強化します。このことは事業所や各家庭での廃棄物の排出量を低減することにも大きな効果があります。廃棄物の減量と再資源化の目標数値を明確にし、事業として管理できるようにします。さらに、現状、再資源化を委託している廃棄物についても、コープしがとしての事業化についても検討していきます。

## 2012 年度環境目的目標

2012年度は、2012年3月に改訂した環境マネジメント方針にもとづき、次の目的目標を定めました。これらを具体化するために、部署ごとのマネジメントプログラムを設定し、月次で管理していきます。

目的	目標
環境に配慮した商品を組合員に提供します。	①無店舗事業部門は、県内商品の取り扱いを増やし、1年間の企画アイテム数を10%伸張させます。 ②店舗事業部門では、県内産米の普及に取り組み、前年利用実績(kg)を維持します。また、県内産畜産物(牛、豚、鶏)の普及に取り組み、精肉供給高を3%伸張させます。 ③環境に配慮した商品の取り扱いに関してコープきんきとの協議を開始し、方向性を定めます。
エネルギー資源を効率的に使用します。	①電気の使用量を前年実績から4.3%低減します。 ②電気使用量の削減に向け、長浜センターと甲南センターでの省エネ設備導入を進め、さらに太陽光発電設備を導入します。 ③エコドライブを推進し、上期に配達車両の燃費を測定し、下期には10%改善をめざします。 ④BDF5を導入する事業所を増やすとともに、BDF100%の導入及び2005年以降の排ガス対策車での使用テストに取り組みます。
環境に配慮した事務用品を使用します。	①古紙パルプを70%以上含む事務用紙の使用率を90%に高めます。 ②事務用品のグリーン購入比率を50%に高めます。 2011年度 古紙パルプ70%以上の事務用紙使用率 82.2% (重量比率) 2011年度 グリーン購入比率 44.4% (点数比率)
廃棄物を削減し、リサイクルを推進します。	①事業系一般廃棄物の排出量を前年実績から3%削減します。 ②産業廃棄物(廃プラスチック類)の有価物化をすすめ、排出量を削減します。 ③商品配達時に使用する内掛け袋(PE)の回収率を40%に高めます。 ④チラシ等の回収活動を強化し、リサイクルする古紙の総量を5%伸張させます。
コープの森づくりを推進します。	①2012年度に「コープの森」の第1号を開設します。 ②コープの森の整備活動に年1回以上取り組み、多くの参加者を募ります。 ③森林を整備する大切さを学ぶ機会を年2回以上設けます。
組合員の環境活動を推進します。	①環境政策に関する組合員の学習会を50会場で開催します。 ②環境にふれあう・学ぶ・貢献する多様な組合員活動を推進し、延べ400名以上の参加をめざします。 ③組合員の環境活動を組織内外に積極的に広報します。また、環境白書づくりの準備をすすめます。
コープしがグループ全体で温暖化効果ガス排出削減を進めます。	①コープしがグループ会議で、目的の共有化、進捗状況の確認、省エネの取り組みに関する経験交流などを行います。 ②グループ会社及び業務委託会社でのエネルギー消費量の把握し、コープしがの事業における温暖化ガス排出量を定期的に算出します。

# 安全・安心な商品をお届けする「無店舗事業」 夕食サポート事業「つながり」



無店舗事業は、県内全域に配置している10か所の無店舗事業センターから13万人の組合員宅へ毎週配達しています。

共同購入や個人配達、組合員から前週に注文を受けた商品が、毎週決まった曜日・時間、指定された場所へ配達します。

無店舗の利用方法		
共同購入 (グループ購入)	ご近所のお友達や、職場の仲間など3名以上で利用できます。	配達手数料無料
ステーション購入	地域ステーションは、指定場所に決まった曜日に商品を取りに行きます。	預かり手数料無料
個配 (個人配達)	ご自宅まで商品をお届けします。配達手数料は、固定費と利用額に応じた手数料の合計です。	
システム使用料	利用手数料 (利用額で変動します)	配達手数料
70円 (固定費)	4,000円未満	180円
	8,000円未満	160円
	12,000円未満	130円
	12,000円以上	110円
ぬくもり割引 (子育て世代の方、高齢者の方、障がい者の方に優しい制度です)		
システム使用料	利用手数料	配達手数料
50円	130円	180円

P30コープしが事業所を参照。コープしがHPでもご覧ください。  
<http://www.pak2.com/guide/center.html>

## 夕食サポート事業「つながり」

夕食サポート「つながり」は、組合員相互のくらしのたすけあい運動として、高齢、一人暮らし、共働き・育児等とても忙しい方、夜間勤務その他の理由で、毎日の夕食作りに困っている組合員からの要望を受けて、予約された夕食の弁当やおかずなどを配達して支援します。

夕食サポートチーム 新庄リーダー

**おかず コース**

1週30種類の日替わりメニュー。味付けもバランスも考えたおかずコースです。

塩分 約3~4g 基準カロリー 約500kcal

価格表 (1人分)

5日分 (月~金曜日) のお値段	1日あたりのお値段
2,940円 (税込)	588円 (税込)

**お弁当 コース**

栄養バランスやカロリーを考えた豊富なバリエーションのお弁当コースです。

塩分 約3~4g 基準カロリー 約500~550kcal

価格表 (1人分)

5日分 (月~金曜日) のお値段	1日あたりのお値段
2,625円 (税込)	525円 (税込)

**注文方法** 通常はOCR注文書や、電話注文センターへ電話して注文を行います。  
☎0120-190-502  
月~金曜日 8:30~20:00 土曜日 8:30~11:00

**インターネット注文** 自宅のパソコン・携帯から登録して、好きな時間に注文ができる、かんたん・ベンリなシステムです。  
<http://www.pak2.com/> で



**■夕食サポート「つながり」の特長**

- ①管理栄養士が監修した、5日間の栄養バランスやカロリーを考えた体に優しい日替わりの献立です。
- ②食材は、旬の野菜や魚、お肉を使用し、手作りの味にもこだわりましたおいしいお弁当です。
- ③もちろんコープだから安全にもこだわり、コープがの自主基準に沿った食材を使用します。
- ④当日の朝に作った出来たてを急速冷却し、蓄冷剤と一緒に保冷ボックスに入れて、18時までにお届けします。
- ⑤夕食サポーターが笑顔で手渡します。月曜日から金曜日まで毎日訪問しますので、受け取られる方の安否確認ができます。万が一異常を発見した場合、事前に登録いただいた緊急連絡先にご連絡します。

詳しい内容は、コープしがHPをご覧ください。  
<http://www.pak2.com/bentou/>

「コープしが夕食サポート」についてのお問い合わせは  
☎0120-709-502

受付時間  
月~金/8:30~20:00  
土/8:30~11:00



# 毎日のくらしを支える店舗事業

## 店舗事業



店舗事業は、生鮮品・惣菜から日用雑貨まで品揃えしたスーパーマーケットタイプのコープぜぜ(大津市)とコープ商品や産直商品中心に品揃えした小型のミニコープが野洲・草津・大津市に4店舗あります。くらしの必需品を月間でお買い得価格に設定した「くらし応援」や曜日奉仕などを開催するほか、ファーマーズマーケットおうみんちの野菜など、県内産農産物の普及にも取り組んでいます。

●コープぜぜ 第1土・日曜日 ポイント5倍 ●ミニコープ 第1.3土曜日 5%オフセール

**■ポイントカード**  
ちょっとうれしいお買い物プレゼントとして「ポイントサービス」を実施しています。店舗ポイントカードは、お買い上げ金額200円ごとに1ポイント、200ポイントたまればポイント券1枚をお渡します。ポイント券3枚で1,000円分のお買い物券としてご利用いただけるほか、グリーンスタンプのカタログ商品とも交換していただけます。

**■資源リサイクル**  
店舗ではペットボトル、ペットボトルキャップ、トレー、牛乳パックを回収して循環型社会を目指す取り組みをすすめています。また、マイバックの持参を呼びかけ、「買い物袋」を有料化し、全店舗で95%と非常に高い持参率となっています。



# 安心して暮らすための保障、くらしを楽しく豊かにする「サービス事業」

## 共済事業

もっとやさしいCO・OP共済へ 共済加入件数 (件)

①加入がやさしい、②家計にやさしい  
③手続きがやさしい、④未来もやさしい

CO・OP共済は「組合員どうしの助け合い」を形にした商品です。加入者みんなの掛金で万が一の病気や、事故が発生した加入者のお役立ちとなります。CO・OP共済は組合員の声をもとに商品の開発・改善を行っています。2011年9月に《ずっとあい》(終身共済)が誕生し、今年9月から《たすけあい》共済の女性コースが制度改善します。

	たすけあい	あいぶらず	合計
2010年度	73,863	11,743	85,606
2011年度	75,660	13,316	88,976

たすけあい共済金支払状況			あいぶらず支払状況		
2010年度	件数	支払金額	2010年度	件数	支払金額
2010年度	14,997	559,389	2010年度	821	69,596
2011年度	15,166	571,578	2011年度	956	145,308

(千円)

## こんな声を、頂いています

掛金が手頃ということで、夫婦二人で入りました。思わぬ保障金を頂き助かっております。しかも手続きから早い時期に振込んで頂き有難く思っています。

手術・入院するにあたり、自分の手術が女性特定病気になるかどうか分からなかったのですが、パンフレットをよく見て見ると特定病気に該当するのが分かり、沢山の病気が該当するが驚きました。入院費だけでなく、いろいろとお金がかかるので、COOP共済に加入しておいて良かったです。

共済請求から振込みまで、びっくりするほど早く、対応の良さにさすがと思いました。これからも充実の保障を希望します。

## サービス事業

くらしを便利に・快適にするサービスを取り扱っています

### ■レンタルモップ

2009年7月からレンタルモップの取り扱いを始めました。何度も洗濯して使用するリユース商品のため環境に優しく、生協の配達時にお届け・回収することで低価格を実現しており、生協組合員のみで流通する仕組みのため、一般で流通しているモップが混じりません。手作業で検品するシステムも生協独自のものです。



### ■チケット

ご家族で楽しんでいただける遊園地、テーマパークから県内外の様々なコンサート、美術館のチケットを企画しています。生協のチケットはご自宅で簡単にご注文できます。



### ■ハウジング

新築、リフォーム、内装、外装、白あり、お庭の管理など家に関するご質問は生協にご相談下さい。専門の生協提携店が親切、丁寧にお応えし、安心して任せただけの責任施工と優れた技術により、価値ある住まいを提供いたします。



### ■車検

車検指定整備工場県内10社とコープ車検の事業提携を2009年11月から開始しました。マイカーを良好な状態で長く乗り続けることにより、二酸化炭素排出の軽減に寄与するとともに、車輛製造から廃棄までのサイクルを少しでも延長できることを期待して開発しました。

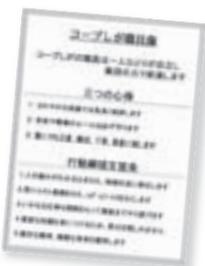
理念と運営体制  
食の安全  
地域貢献  
組合員の活動  
環境保全  
事業内容

# 「コンプライアンス自主行動基準」を遵守し、「コープしが職員像」を実践します。

## コープしがでは、すべての職員のあるべき姿を「コープしが職員像」として掲げています。

すべての職員のあるべき姿を「コープしが職員像」として掲げ、「三つの心得」と「行動綱領五箇条」を常に意識し、コープしが職員としての自覚を持ち、業務を行っています。

事業を通じて組合員の暮らしへのお役立ちを、コープしが職員の「やりがい」や「働きがい」と感じられることをめざしています。



新年役職員全体交流会



2011年度入協式

## 組合員の暮らしのお役立ちのため、多様な雇用形態の中で約820名が働いています。

約290名の正規職員と約530名の嘱託・パート・アルバイト職員が働いており、特に組合員宅へ商品を配達する共同購入の「組合員担当者」の約42%はパート職員が担っています。

店舗では全職員の97%以上が嘱託・パート・アルバイト職員によって運営されており、うち店長職4名、副店長職5名、チーフ職7名が役職を持って働いています。またこの6年間で9名が嘱託・パートから正規職員へ登用されています。

## 正規職員は人事諸制度を活用し、能力開発とキャリア開発をすすめています。

人材育成を第1の目的として人事諸制度を活用しています。「目標設定、中間、評価」の年3回、上司と面接を行い、成果や課題の確認、態度や能力といった仕事のプロセスも評価し、昇級や賃金への反映などを行っています。また自己申告書によりキャリアや希望職種の申告も行います。

教育制度は、採用時、振り返り、中堅職員、管理者などの階層別、役職別の研修のほかに、各職務上で必要な知識や技能を習得するための目的別の研修を実施しています。また、自己のキャリア開発への気づきを促すためのキャリア教育や「資格取得奨励、自主研修活動支援、通信教育援助金」などの各制度を活かし、職員が自己能力開発に取り組んでいます。



アルバイト職員研修



振り返り研修



生産者研修会(大山乳業)

## 働く意欲を持つ定年退職者の再雇用制度

改正高齢者雇用安定法の施行を受けて、60歳で定年退職する正規職員を対象に「職員定年後再雇用規程」を設け、本人の勤務時間の希望などに応じて、正規職員または定時職員として再雇用します。2006年3月から2011年3月までに9名を正規職員として再雇用しています。

## コープしがでは、すべての役職員が遵守する「コンプライアンス自主行動基準」をもとに行動しています。

### I. 組合員の願いを実現するために

- ①組合員の願いに応える商品・サービスを実現します。
- ②組合員の声を聴き、誠実に対応します。
- ③正確・適切・正直な商品情報の提供に努めます。
- ④商品事故や法令・基準違反を防ぎ、発生した場合も万全の対応をします。
- ⑤組合員個人の情報は「お預かりしたもの」として大切に扱い、他には漏らしません。
- ⑥すべての組合員に分け隔てなく公平に対応します。

### II. 健全な経営と運営をすすめるために

- ①法令や定款・規約・内部諸規定にもとづき、健全な事業経営をすすめます。
- ②ルールに基づく適正な機関運営をすすめます。
- ③適切な情報公開・開示をすすめます。
- ④内部監査の充実を図ります。
- ⑤役員や指導の立場の職員は、その責任の重さを自覚し職務を遂行します。

### III. 社会から信頼されるコープしがとして

- ①関連する法令を積極的に遵守します。
- ②交通事故・違反ゼロを目指します。
- ③地域に信頼される施設管理をすすめます。
- ④琵琶湖・地球環境を守り良くする活動をすすめます。
- ⑤社会貢献をすすめます。
- ⑥知的財産権を遵守します。

### IV. 取引先・生産者のみなさんと健全な関係を築くために

- ①取引先の選定は公正に行います。
- ②対応・平等・公正な取引をすすめます。
- ③不当な要求等は禁止します。
- ④贈答や接待は社会通年上許容される範囲に留めます。

### V. よりよい職場、安全で働きがいのある職場の実現をめざして

- ①基本的人権と個人の尊厳を尊重します。
- ②セクシャルハラスメント行為を禁止します。
- ③プライバシーを保護します。
- ④健全な職場環境の整備に向けて改善をすすめます。
- ⑤風通しの良い組織風土を築きます。

### VI. コープしが役職員としての自覚と誇りをもって

- ①法令はもとより、職場のルールや諸規程・約束事を遵守します。
- ②生協の財産を守り有効に活用します。
- ③経費等の申告・処理は迅速かつ正確に行います。
- ④業務を通じて個人的利益の追求は行いません。
- ⑤情報の取扱いには細心の注意を払い、配慮します。

## オレンジリボンキャンペーンに職員全員が参加しています。

2008年から引き続き、正規職員からアルバイト職員まで全員が「オレンジリボン」を着用し、児童虐待防止を訴えています。



# 働きがいのある職場づくり

## 人の能力や適性に配慮した障がい者雇用

事業所の障がい者雇用率や定着率などを基本に、障がい者を積極的に雇用していることを評価され、平成19年度障がい者雇用優良事業所に選ばれました。

障がい者個々の個性や能力が仕事とマッチできることを職場の中で配慮しています。2011年度末の障がい者雇用率は2.64%で、法定雇用率1.8%を上回っています。



平成19年度障がい者雇用優良事業所表彰

## 誰もが安全で安心して働ける職場環境の実現

労務担当役員を委員長とし、職場の代表をメンバーとする「中央労働安全衛生委員会」と、職場単位での「職場労働安全衛生委員会」を設け、労働災害発生防止のための職場点検活動や健康増進に関する啓発活動に取り組んでいます。

また、現場業務に従事する職員の腰痛対策として「腰痛体操」「腰痛検診」などに取り組んでいます。

セクハラ、パワハラに関して「ハラスメントに関する基本方針」を掲げ、ハラスメント行為防止の啓発活動や、万一発生した場合の「ヘルプライン相談窓口」でコンプライアンスも含めた対応を行います。

メンタルヘルスについては、「メンタルヘルス相談窓口」を設置し、産業医、外部医療機関などと連携をしてすすめています。



腰痛体操の講習会



腰痛体操をしてから出発

労災事故件数(件) (スリキズなどの小さなケガもカウントしています)

年度	合計
2008年度	47
2009年度	25
2010年度	33
2011年度	31

ヘルプライン対応状況(件)

2006年度	9	2009年度	6
2007年度	8	2010年度	4
2008年度	9	2011年度	4

内容は、ほとんどが職場の人間関係や上司への不満等で、重要な不法行為等の通報はありません。

## 役職員相互の親睦や相互扶助、福利厚生を目的とした互助会制度

福利厚生の増進と相互の親睦、よりよい人間関係を形成するための互助会制度があります。厚生旅行やサークル活動などへの援助、忘年会・新年会・歓送迎会の補助、慶弔見舞い金の支給、その他、文化・健康増進企画の補助などを行っています。



コープしが野球チーム「ドリームス」



ソフトバレーボール大会



ソフトバレーボール大会

## 素直に感謝しあう職場風土づくり

コープしがの職員がとった行動の中で、組合員や地域の方が「良かった」と感じていただけた仕事や行動の事例を集め、組織内で共有し承認する「感謝・感動の事例共有と承認する仕組み」に取り組んでいます。個人のモラル向上や仕事のレベルアップを図り、職員間で素直に感謝の気持ちを伝えあうこと、感謝することの連鎖を引き出し、職場や組織の活性化につなげることで、風土づくりを目的としてこの制度を運用しています。

## 働きやすい職場づくりを労働組合とともに

労働組合は、正規職員・パート職員に関して、ユニオンショップの形態をとり、コープしがでは、労働者のこころと体の健康や権利を守り、民主的な職場運営を発展・継続させていくため、労働組合との協力関係を築いています。

# コープしがの事業所・事務所及び子会社の紹介

## 本部・事務所・その他施設

本部・野洲事務所 野洲市富波甲 972 TEL 077-586-1112 (代表)  
 生協会館 大津市竜が丘 1-1 TEL 077-511-2961  
 青果産直センター 栗東市荒張 1419-1 TEL 077-559-2010  
 近江八幡事務所 近江八幡市西生来 1845-4 TEL 0748-38-8688  
 福祉ネットワークセンターゆめふうせん 大津市真野 5-33-25 TEL 077-571-1560  
 草津事務所 草津市西草津 2丁目 1-1 TEL 077-565-9394

## 無店舗事業センター

南草津センター 草津市笠山 5丁目 3-50 TEL 077-565-0770  
 北大津センター 大津市真野 5-33-25 TEL 077-571-1550  
 草津センター 草津市上寺町可措 281-1 TEL 077-568-1671  
 中央大津センター 大津市国分 2-226-22 TEL 077-531-0970  
 甲南センター 甲賀市甲南町市原 303-6 TEL 0748-86-6977  
 近江八幡センター 近江八幡市馬淵町落合 437-1 TEL 0748-37-4110  
 愛知川センター 愛知郡愛荘町愛知川 1050 TEL 0749-42-4445  
 長浜センター 長浜市西上坂町 1020-1 TEL 0749-63-0851  
 彦根センター 彦根市竹ヶ鼻町四反地 224-1 TEL 0749-30-3371  
 高島センター 高島市新旭町新庄 799 TEL 0740-25-5888

## 店舗

コープゼゼ 大津市竜が丘 1-1 TEL 077-522-5111  
 ミニコープローズタウン 大津市朝日 1丁目 15-1 TEL 077-594-3721  
 ミニコープ西大津 大津市柳川 2丁目 11-25 TEL 077-523-5090  
 ミニコープ草津 草津市西草津 2丁目 1-1 TEL 077-565-9394  
 ミニコープ野洲 野洲市富波甲 963-1 TEL 077-587-6578

## 子会社

株式会社タクス 野洲市富波甲 977 TEL 077-588-5715  
 株式会社コープシステムサービス 栗東市荒張 1420-1 TEL 077-559-2239  
 株式会社シガフードプロダクツ 甲賀市甲南町市庄 330 TEL 0748-86-0641  
 株式会社滋賀有機ネットワーク 栗東市荒張 1420-1 TEL 077-558-2211



# コープしがの子会社

コープしがの子会社は、組合員が多様なくらい全般のニーズに応え、法規制等により生協で事業が制限されている分野、また農産物生産者との協同会社や牛豚・青果物の加工会社など専門的に事業化している分野を担っています。

また「コープしが子会社グループ経営指針」をもとに「グループ会社管理規程」を策定し管理運営を行っており、各代表取締役はコープしが常勤理事が兼務し、出資額または保有株式額の範囲で経営責任を持ち、グループ全体の経営会議を開催し、グループ・コーポレートガバナンスに責任をもって運営しています。



	(株) タクス	(株) コープシステムサービス	(株) シガフードプロダクツ	(株) 滋賀有機ネットワーク
設立年月	1995年9月	1995年11月	1993年4月	1994年12月
代表取締役	木村昌博	小杉元彦	白石一夫	濱田和夫
資本金総額 (コープしが出資額)	15,000千円 10,000千円	30,000千円 20,000千円	95,000千円 48,000千円	10,000千円 4,000千円
コープしが持株比率	66.7%	66.7%	50.5%	40.0%
2011年度売上高	73,540千円	488,005千円	1,199,506千円	615,186千円
経常利益	1,049千円	7,426千円	12,215千円	6,057千円
事業内容	損害保険・生命保険代理店、旅行業、宅地建物取引業、各種斡旋事業	倉庫・保管庫の管理業、物流センター管理運営業、物流資材等の販売業	牛肉・豚肉の食肉パック加工事業、パック加工済商品販売業、畜産加工品の販売業	穀類・野菜類及び果樹類の生産・加工・販売業、農作業及び農業経営の受託事業、等
	組合員の暮らし全般をサポートするために、生協では扱えない事業分野での事業展開を図る。	物流に関する専門的なノウハウを導入し、適切な物流管理の遂行及びコープしがの物流費用のコントロールする	精肉の生産、流通及び加工までを一元管理し、安全・安心・良質な肉を適正な価格で安定供給する。	県内での産直有機農産物の産地づくりの推進と農産物の流通拠点を確立する。

\*各社の売上高及び経常利益は、最終確定前の決算数値です

# コープしがのあゆみと環境活動年譜

大津生協のあゆみ10年史 (発行1983年)	大津生協「商品のしおり」	湖南消費生活協同組合設立 (4月) 大津生活協同組合設立 (7月)	1972	
			1973	● びわこ汚染防止対策を自治体へ要請
		山東消費生活協同組合設立 (後の滋賀県北部生活協同組合)	1976	● 空きビンのリサイクル運動
			1977	● 琵琶湖に初めて大規模な赤潮が発生 ● 廃食油 (家庭用) 回収運動を県内で展開
		滋賀県東部生活協同組合設立	1979	● 家庭の合成洗剤を粉石けんに交換引取運動
			1980	● 滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例の制定施行
		滋賀県生活協同組合連合会設立 (6月)	1981	
			1983	大津生協瀬田店で買い物袋持参運動スタート (レジ袋有料化5円)
			1987	● 抱きしめて BIWAKO 開催 (25万人参加)
			1988	● よみがえれ琵琶湖 署名運動 (34万筆)
			1991	● 滋賀県環境生活協同組合設立 (現: 碧いびわ湖)
		生活協同組合コープしがが発足 (4生協合併) (株)シガフードプロダクツ設立 (食肉加工)	1993	コープしが環境元年を発表 シルヴィコープ彦根店にソーラー発電システムを設置 買い物袋持参運動 (レジ袋有料化5円) を全店舗で展開
		たすけあい共済事業スタート (有)滋賀有機ネットワーク設立 (青果)	1994	LPG 配送車輛の導入
		県内農産物の発展協力に関する協同組合間提携協定締結 (株)タクス設立 (保険・サービス事業) (株)コープシステムサービス設立 (物流管理)	1995	環境憲章を制定 コープしが独自の環境マネジメント・スタート
		青果産直センター開設	1996	
		個配事業の県内全域展開をスタート	1999	ISO14001 認証を取得
			2000	環境マネジメントセンター開設 (現リサイクルセンター)
		ホームページ「ぱくぱくファミリー」を開設 滋賀県の農産物発展協力に関する協定締結 ステーション購入スタート	2001	大津市と環境保全協定を締結
		インターネット注文スタート 共同購入個人別集品スタート 産直牛のトレーサビリティ開始 (店舗)	2002	ISO14001 認証を更新
		福祉情報電話開設 コープしがが発足10周年記念式典 「生活協同組合連合会コープきんき事業連合」設立・加盟	2003	
			2004	ゼロエミッションを定義 全店舗、共同購入センターで事業系生ゴミのリサイクルをスタート
		ささえあいサポート事業スタート コンプライアンス宣言	2005	ISO14001 認証を更新
		くらしささえあいサポート事業スタート 福祉ネットワークセンター・ゆめふうせん開設 コープきんきとの共同企画スタート	2006	発電設備内蔵型ガスヒートポンプを導入 (北大津センター)
		共同購入・個配のポイント制スタート 商品原材料情報システムスタート	2007	廃食油をバイオディーゼル燃料 (BDF) に再資源化 環境事業積立金
		生協法改正 日本コープ共済生活協同組合連合会発足 個人配達手数料「ぬくもり割引制度」スタート 組合員コールセンタースタート コープしがが発足15周年記念事業 くらしのサービス事業スタート	2008	ISO14001 認証を更新 環境マネジメント方針の改定 環境事業積立金
		高齢者対応個配サービススタート コープきんき「組合員の声」「商品苦情システム」スタート 滋賀県飼料米利活用推進における協定締結	2009	環境事業積立金
		全国環境保全型農業コンクールで特別賞受賞	2010	環境事業積立金 「コープしがびわ湖の日 (9月第1土曜)」をスタート BDF5%燃料を2事業所 28台に導入
		夕食サポート事業「つながり」スタート	2011	環境政策の見直し・BDF100%燃料スタート 太陽光発電システム導入

●は、行政・他団体と一緒に取り組んだ活動

理念と運営体制

食の安全

地域貢献

組合員の活動

環境保全

事業内容



生活協同組合コープしが

<http://www.pak2.com>



2012年6月発行

表紙写真：(社)びわこビジターズビューロー  
(高島市から撮影した竹生島)



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を用い、その製造及び廃棄におけるCO<sub>2</sub>排出量はCOJを通じカーボンオフセットしています。この印刷物1部あたりのCO<sub>2</sub>排出量は上記の通りです。また、大豆油インキを含まない植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用したFSC認証用紙を使用しています。